

令和7年度第6回 インターネット都政モニターアンケート

「金融リテラシーと金融被害への認識」

調 査 結 果



調 査 実 施 の 概 要

1 アンケートテーマ

金融リテラシーと金融被害への認識

2 アンケート目的

金融に関する知識や判断力に関する意識を把握し、金融リテラシー向上に向けた啓発の取組の参考とする。

3 アンケート期間

令和7年12月17日（水曜日）から12月24日（水曜日）まで

4 アンケート方法

インターネットを通じて、モニターがアンケート専用ホームページに回答を入力する。

5 インターネット都政モニター数

500人

6 回答者数

483人

7 回答率

96.6%

金融リテラシーと金融被害への認識

1 調査項目

- Q 1 金融商品への関心
 Q 2 金融商品を購入する理由
 Q 3 金融商品を購入しない理由
 Q 4 金融商品の認知
 株式投資、債券投資、投資信託
 NISA（ニーサ）、iDeCo（イデコ）、FX（エフエックス）、暗号資産投資
 Q 5 金融商品の情報入手方法
 Q 6 インターネットによる情報入手方法
 Q 7 資産管理で重要だと思うこと
 Q 8 資産管理の情報入手方法
 Q 9 金融被害に対する意識
 Q 10 金融被害の予防策
 Q 11 金融被害の手口に関する知識
 ロマンス詐欺、高配当の投資勧誘、未公開株の投資勧誘
 暗号資産の投資勧誘、SNS 型投資勧誘
 Q 12 金融被害に遭った際の相談先
 Q 13 金融リテラシーや金融被害について（自由意見）

2 アンケート回答者属性

		モニター 人 数	回 答		
			人 数	構成比	率
全 体		500	483	－	96.6
性 別	男性	250	240	49.7	96.0
	女性	250	243	50.3	97.2
年 代 別	18・19歳	10	7	1.4	70.0
	20代	71	68	14.1	95.8
	30代	75	68	14.1	90.7
	40代	88	86	17.8	97.7
	50代	89	88	18.2	98.9
	60代	61	61	12.6	100.0
	70歳以上	106	105	21.7	99.1
職 業 別	自営業	32	31	6.4	96.9
	常勤	241	231	47.8	95.9
	パート・アルバイト	59	58	12.0	98.3
	主婦・主夫	71	70	14.5	98.6
	学生	25	21	4.3	84.0
	無職	72	72	14.9	100.0
居住地域別	東京都区部	344	330	68.3	95.9
	東京都市町村部	156	153	31.7	98.1

※ 集計結果は百分率（％）で示し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのため、合計が100.0％にならないものがある。

※ n（number of cases）は、比率算出の基数であり、100％が何人の回答者に相当するかを示す。

※ 複数回答方法・・・（MA）＝いくつでも選択、（3MA）＝3つまで選択、（2MA）＝2つまで選択

将来や老後に備えるため、株式や投資信託など金融商品※1を購入し保有する方が増えています。

一方で、金融商品を巡り悪質な勧誘も発生し、詐欺的な手法により、金銭を失ってしまう被害が後を絶ちません。

金融資産※2を持つこと、悪質な勧誘などによる金融被害にあわないためには、金銭の管理や使い方、金融商品の選び方、正しい情報の見分け方などの知識や判断力（金融リテラシー※3）を身に付けることが重要です。

東京都では、金融被害・トラブルにあわないために金融リテラシー向上を支援するための取組をこれまで以上に推進したいと考えています。

今回、金融に関する知識や判断力に関する意識を把握し、金融リテラシー向上の施策の参考とさせていただくため、都政モニターの皆様に御意見を伺います。

※1 金融商品：

預金、有価証券、保険、デリバティブなど。

本アンケートでは、有価証券等の元本保証のない商品を指します。

※2 金融資産：

現金をはじめ、預貯金や有価証券（株券、債券など）など。

資産のうち、土地・建物や機械・設備などの実物資産を除いたものを指します。

※3 金融リテラシー：

経済的に自立し、より良い生活を送るために必要なお金に関する知識や判断力を指します。

【参考】

ホームページ：「金融リテラシー」って何？ 最低限身に付けておきたいお金の知識と判断力

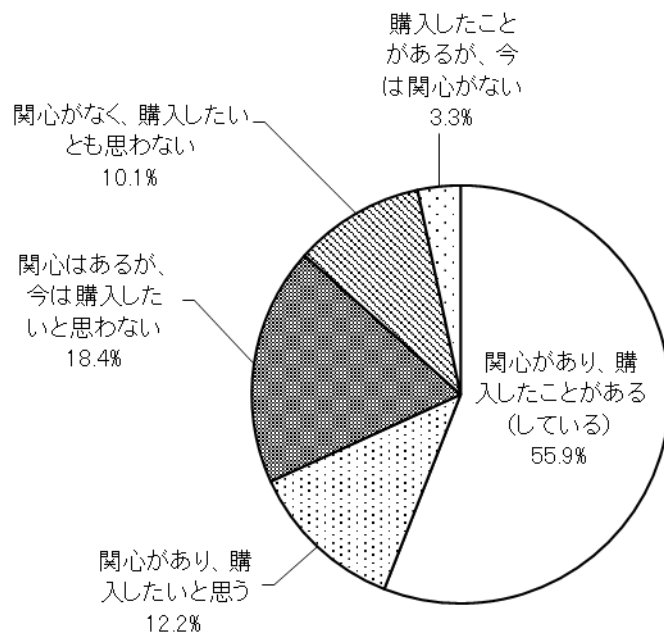
<https://www.gov-online.go.jp/article/201404/entry-8506.html>

（政府広報オンライン）

金融商品への関心

Q 1 株式や投資信託などの金融商品に関心がありますか。

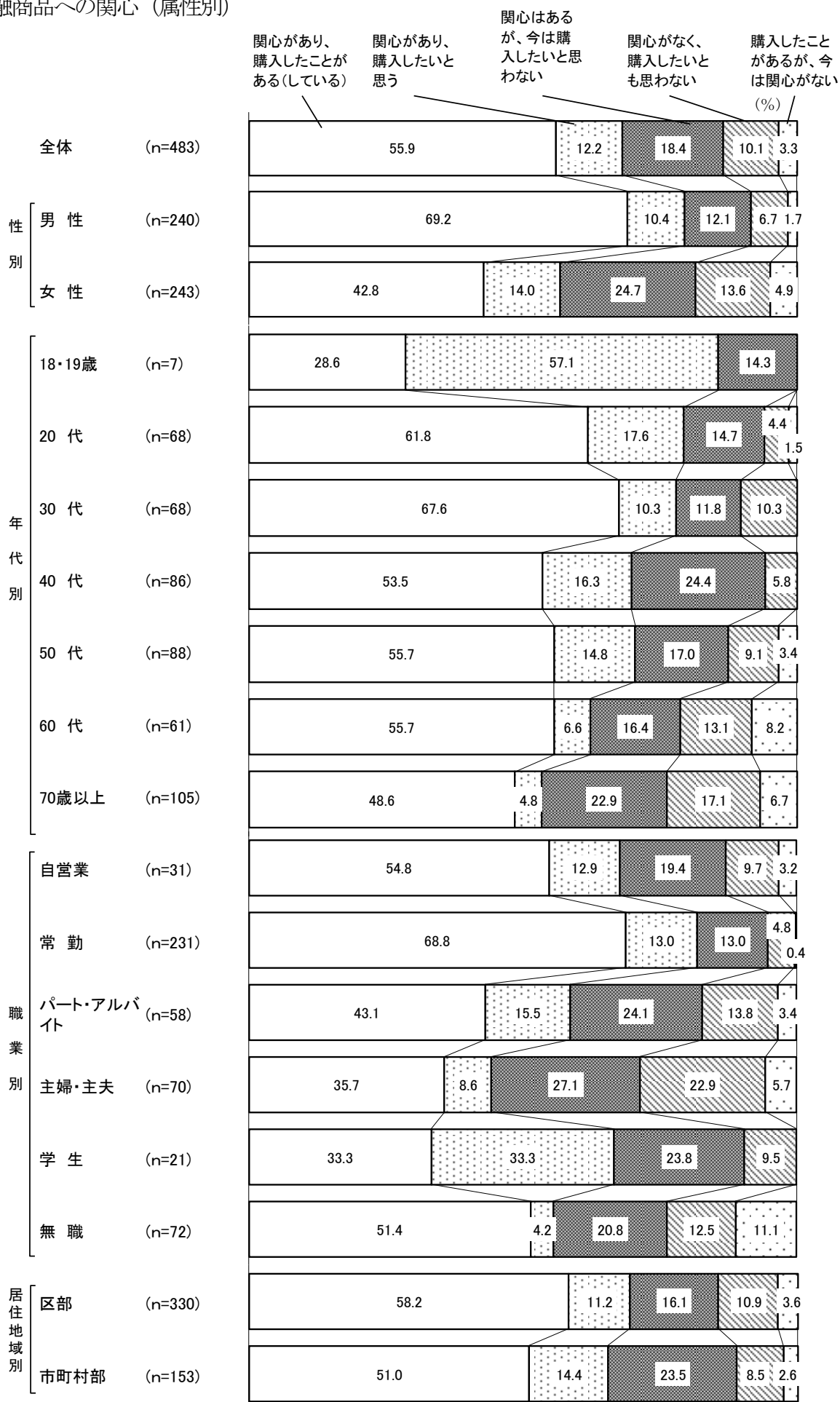
(n=483)



【調査結果の概要】

株式や投資信託などの金融商品に関心があるかを聞いたところ、『関心がある（計）』（86.5%）（「関心があり、購入したことがある（している）」（55.9%）、「関心はあるが、今は購入したいと思わない」（18.4%）、「関心があり、購入したいと思う」（12.2%））が8割半ばだった。

◎金融商品への関心（属性別）

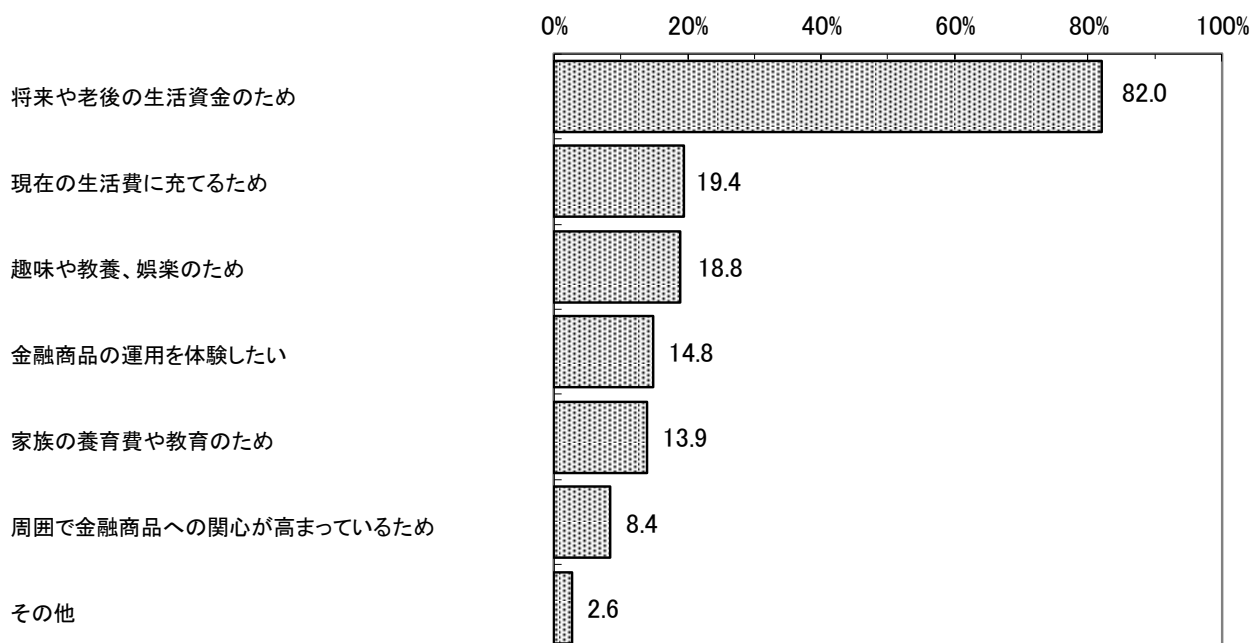


※未回答の選択肢については、0%表示を省略

金融商品を購入する理由

Q2 Q1で「関心があり、購入したことがある（している）」、「関心があり、購入したいと思う」「購入したことがあるが、今は関心がない」を選んだ方に伺います。購入した（購入したい）理由は何ですか。次の中から2つまで選んでください。

2MA (n=345)



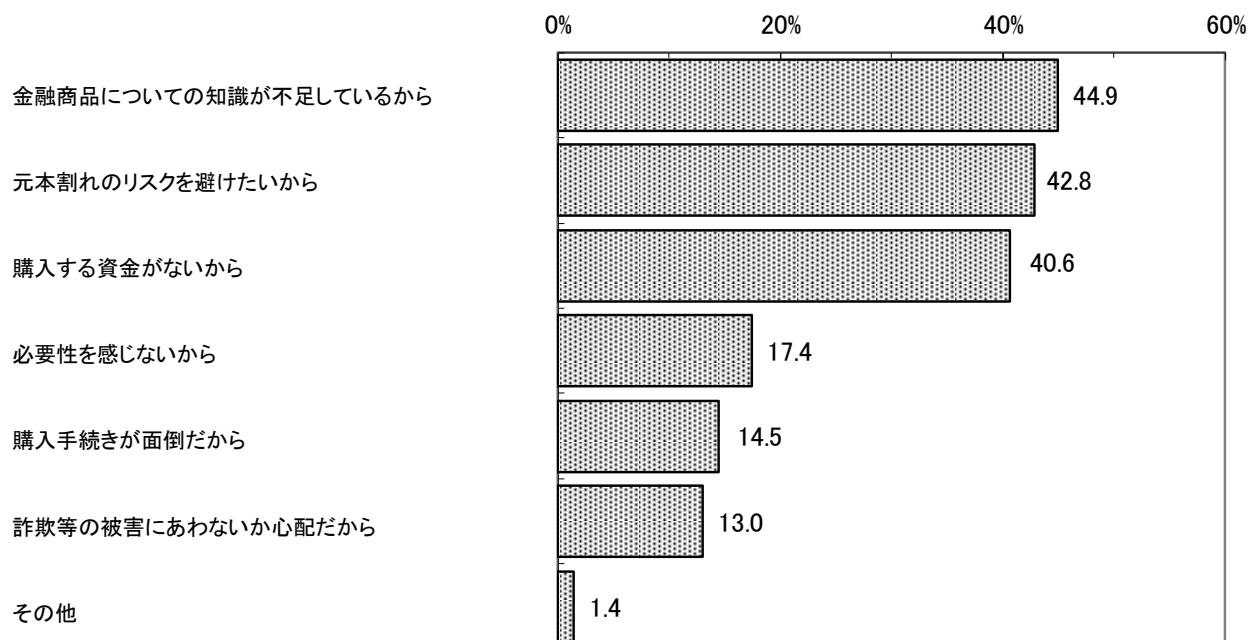
【調査結果の概要】

Q1で「関心があり、購入したことがある（している）」、「関心があり、購入したいと思う」「購入したことがあるが、今は関心がない」と答えた方345人に、購入した（購入したい）理由を聞いたところ、「将来や老後の生活資金のため」（82.0%）が8割を超えて最も高く、以下、「現在の生活費に充てるため」（19.4%）、「趣味や教養、娯楽のため」（18.8%）などと続いている。

金融商品を購入しない理由

Q3 Q1で「関心はあるが、今は購入したいと思わない」「関心がなく、購入したいと思わない」を選んだ方に伺います。購入しない理由は何ですか。次の中から2つまで選んでください。

2MA (n=138)



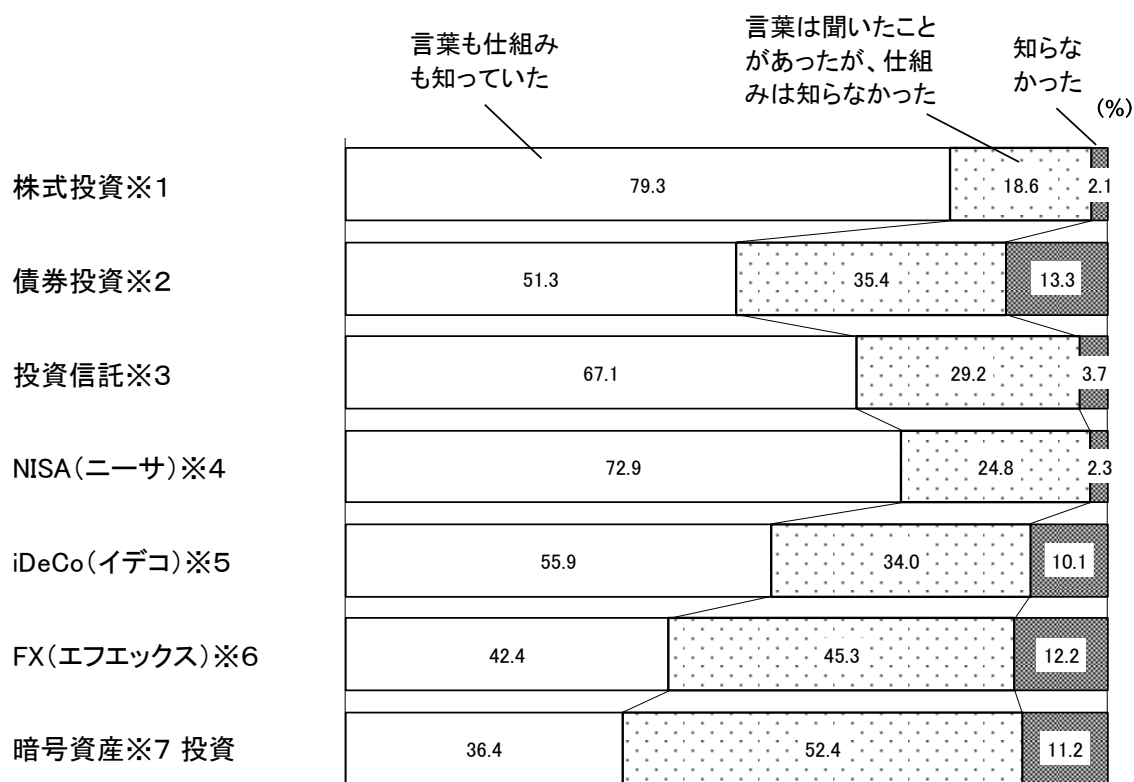
【調査結果の概要】

Q1で「関心はあるが、今は購入したいと思わない」「関心がなく、購入したいと思わない」を答えた方138人に購入しない理由を聞いたところ、「金融商品についての知識が不足しているから」(44.9%)が4割半ばと最も高く、以下、「元本割れのリスクを避けたいから」(42.8%)、「購入する資金がないから」(40.6%)などと続いている。

金融商品の認知

Q 4 次の金融商品を知っていましたか。

(n=483)

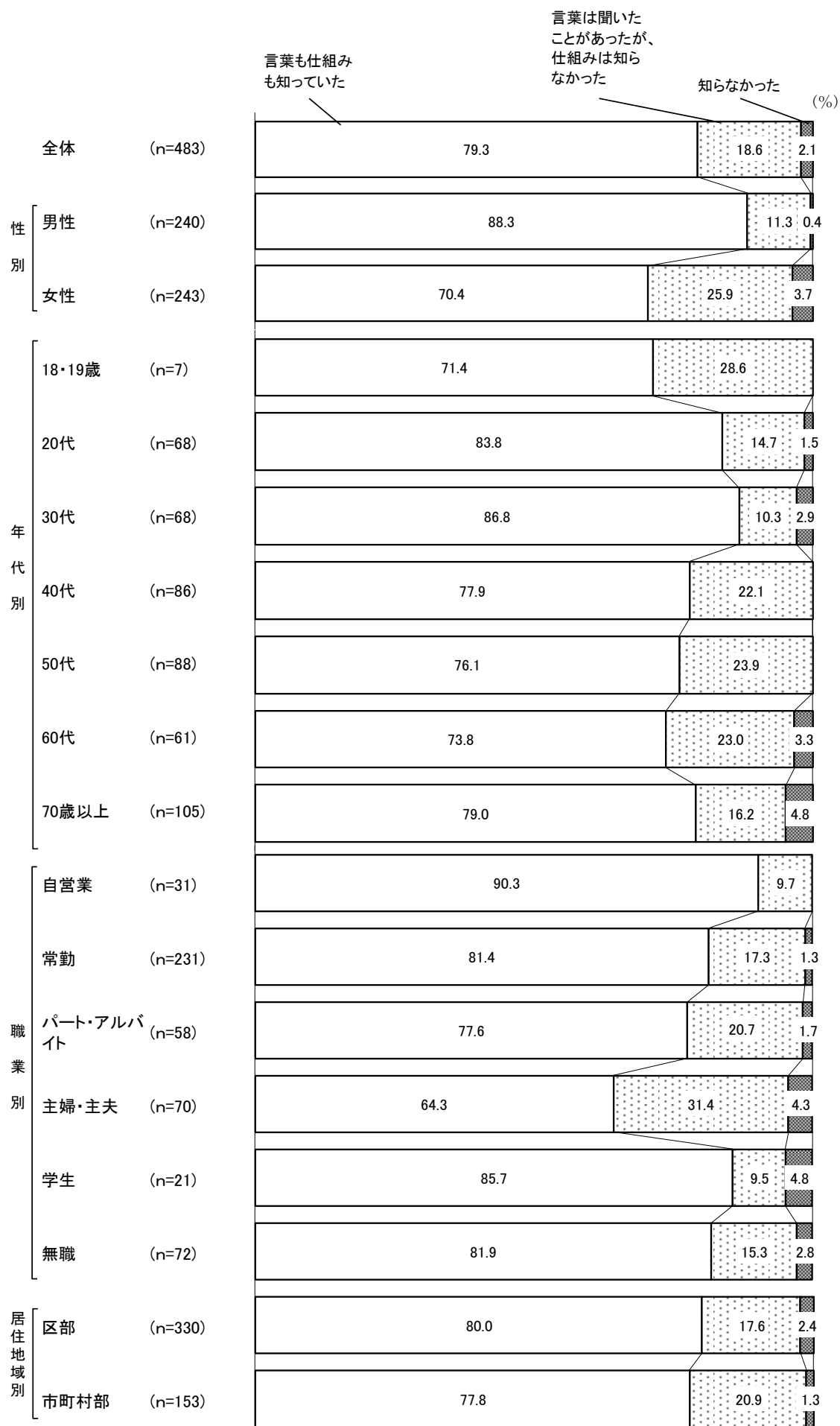


- ※1 株式投資 : 企業の株式を購入し、その企業の成長や利益に応じて株価の上昇や配当金を得ることを目的とする投資方法
- ※2 債券投資 : 国や企業が発行する債券を購入し、一定期間後に元本と利息を受け取ることを目的とする投資方法
- ※3 投資信託 : 複数の投資家から集めた資金を専門家が株式や債券などに分散投資する仕組み
- ※4 NISA : 投資した金融商品から得られる利益が非課税となる少額投資非課税制度 (投資枠として上限金額の設定あり)
- ※5 iDeCo : 自分で金融商品を選択して運用しながら掛金を積み立てる個人型確定拠出年金制度
- ※6 FX : 外国為替証拠金取引。異なる2つの国の通貨を売買し、その為替レートの変動を利用して利益を狙う金融商品。一定の証拠金を入金することで証拠金以上の金額の取引ができる。
- ※7 暗号資産 : 国が発行する法定通貨 (円、ドル等) ではなく、インターネット上で取引されるデジタル通貨のこと。代表的なものに、ビットコインやイーサリアムがある。仮想通貨とも言う。

【調査結果の概要】

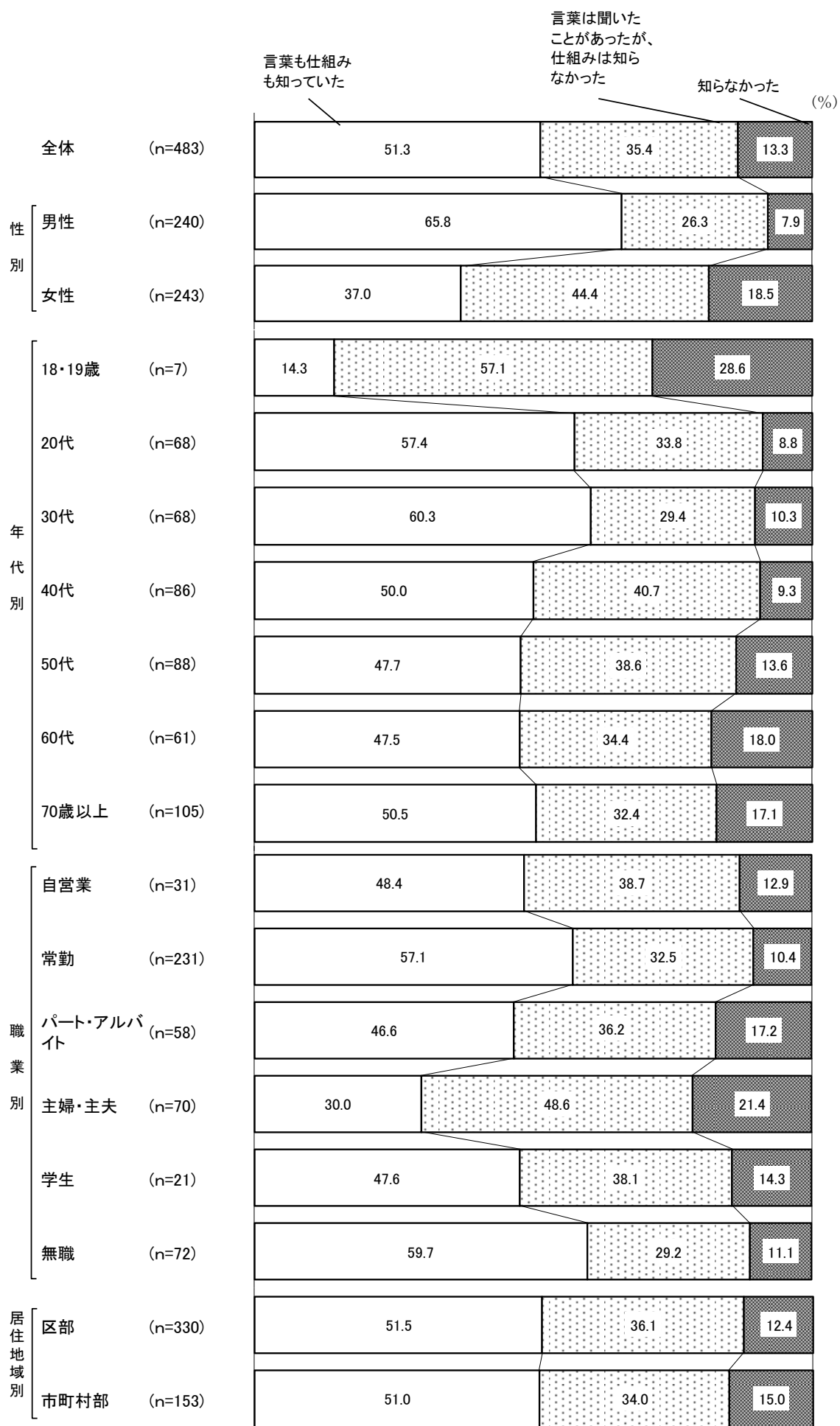
金融商品について知っているか聞いたところ、「言葉も仕組みも知っていたの」は「株式投資」(79.3%) が8割近くと最も高く、「NISA (ニーサ)」(72.9%)、「投資信託」(67.1%) などと続いている。

◎次の金融商品を知っていましたか【①株式投資】（属性別）



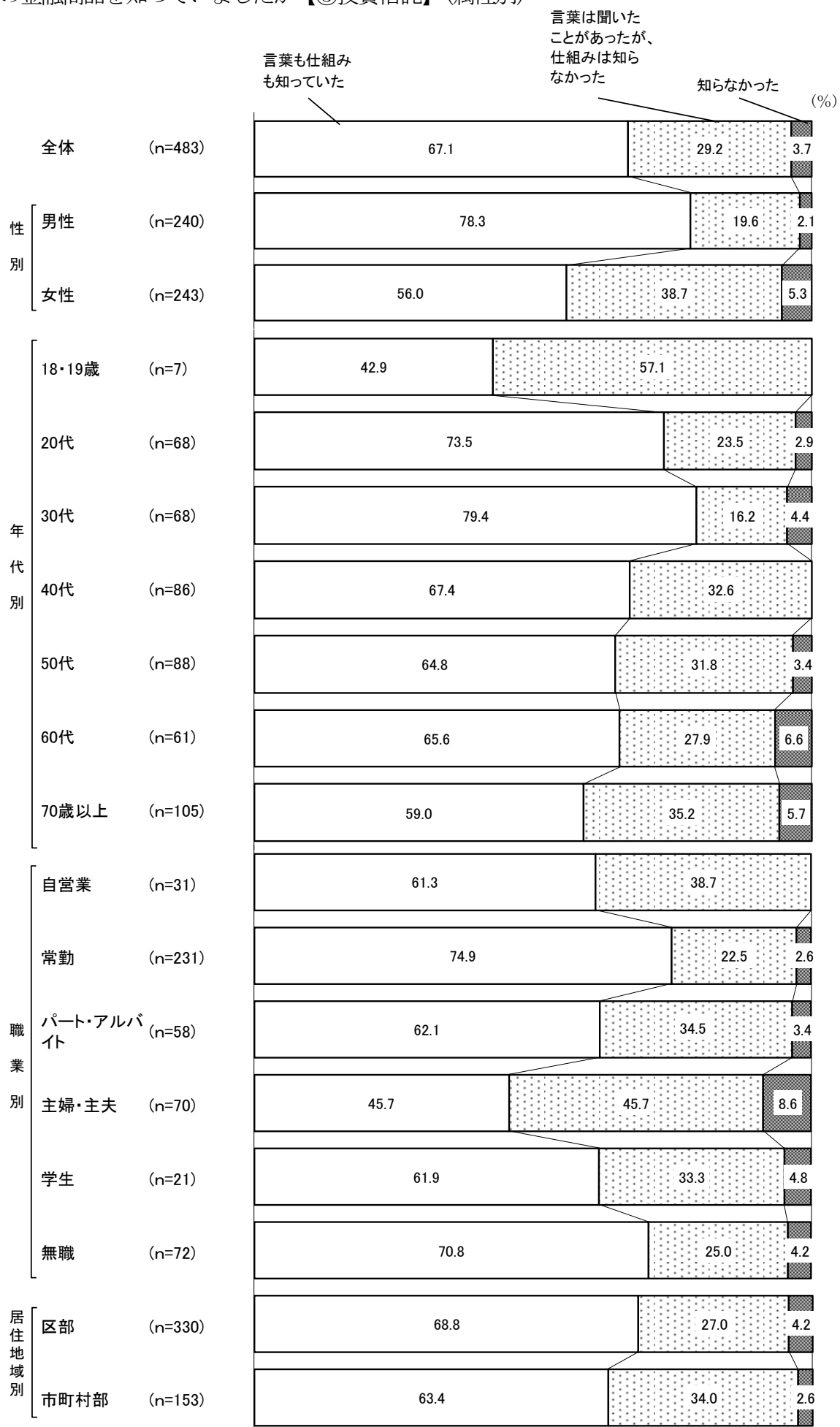
※未回答の選択肢については、0%表示を省略

◎次の金融商品を知っていましたか【②債券投資】（属性別）



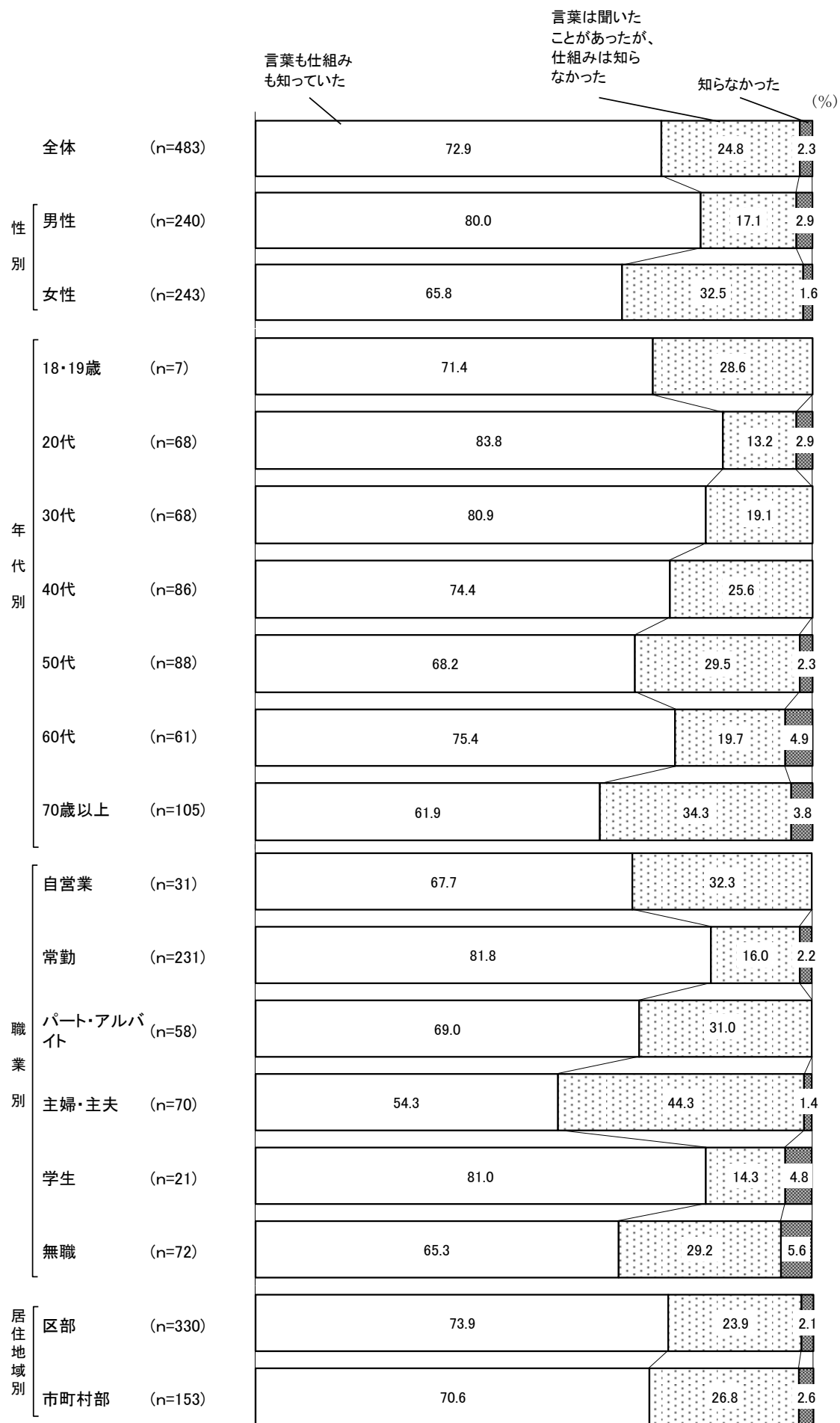
※未回答の選択肢については、0 %表示を省略

◎次の金融商品を知っていましたか【③投資信託】（属性別）



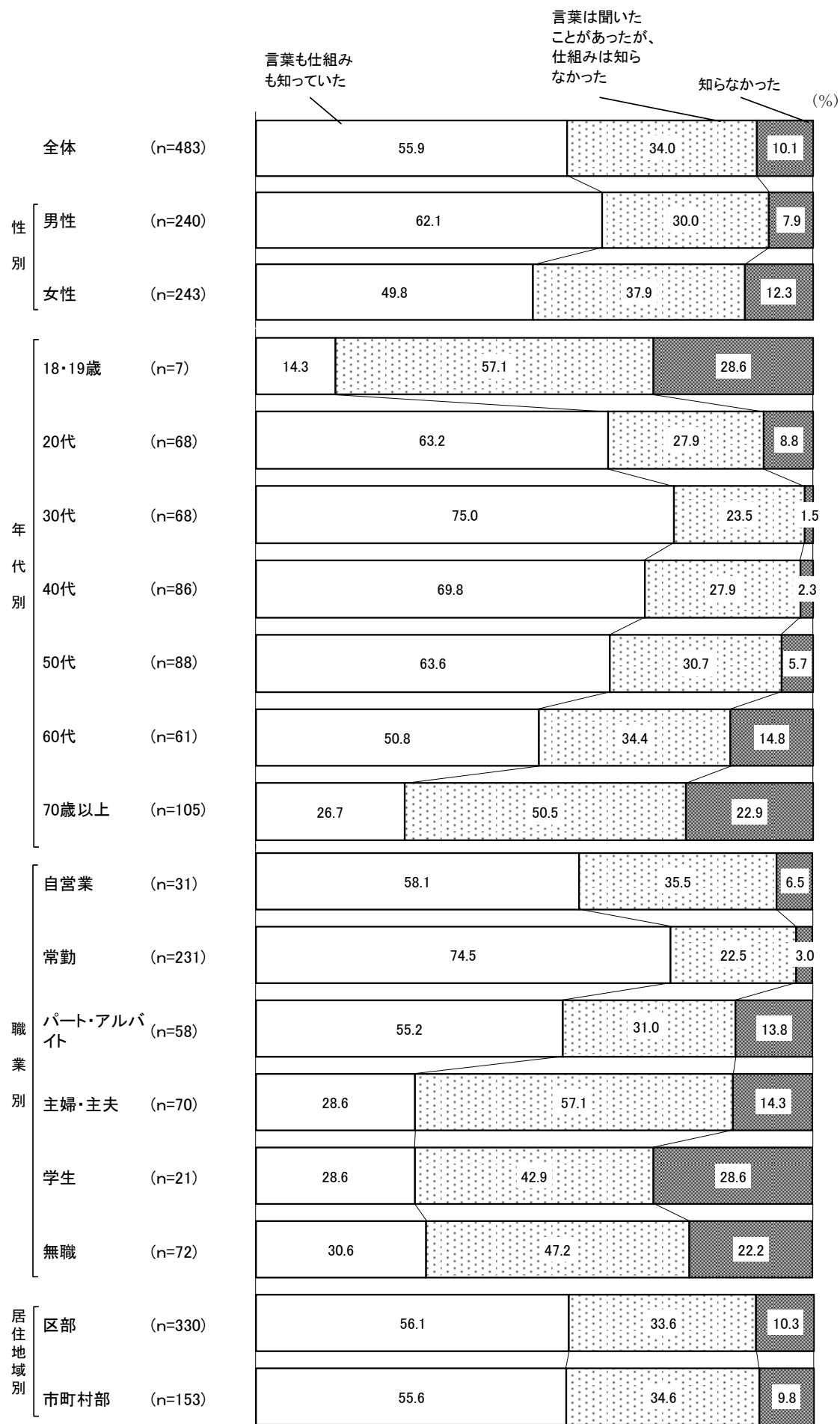
※未回答の選択肢については、0 % 表示を省略

◎次の金融商品を知っていましたか【④NISA（ニーサ）】（属性別）



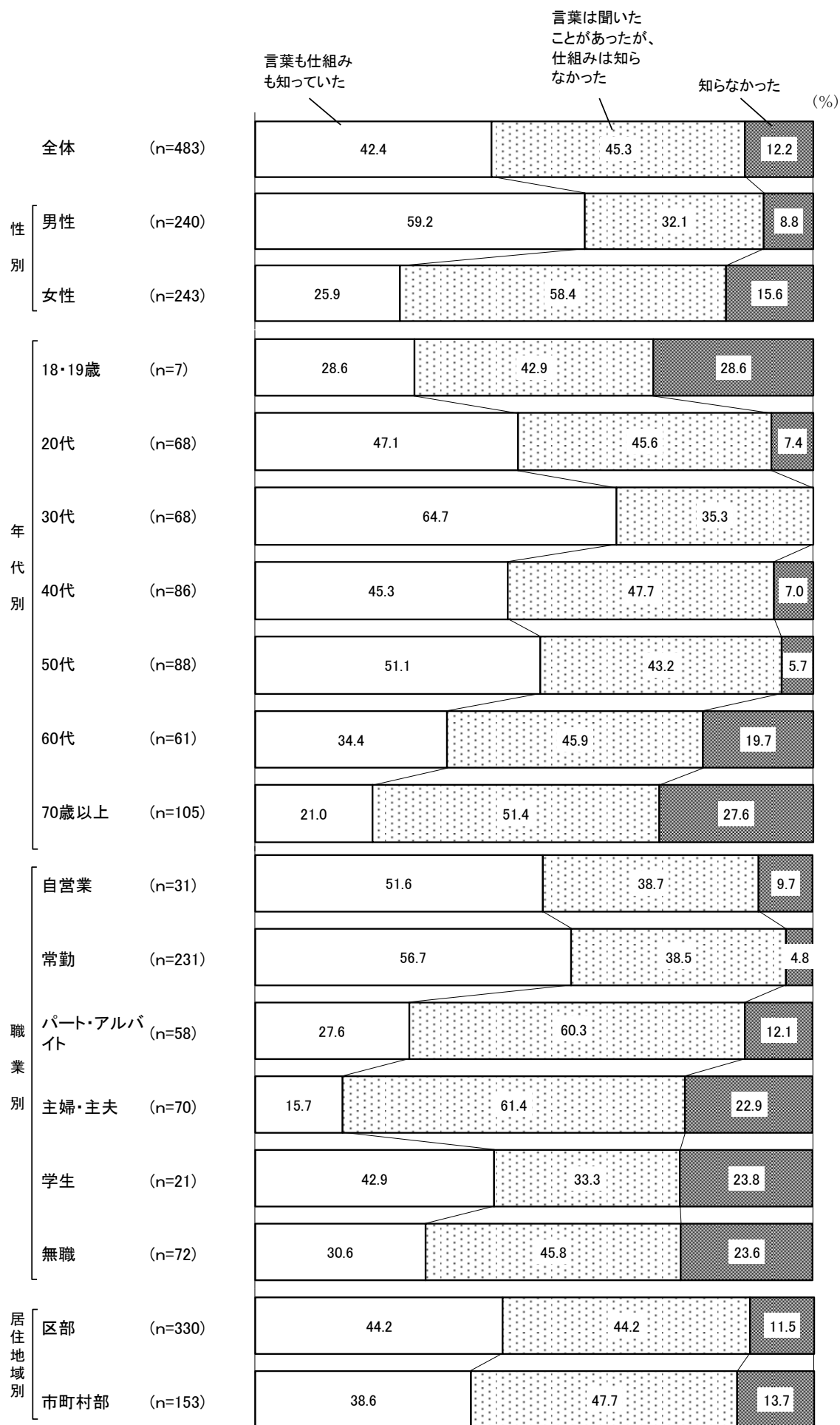
※未回答の選択肢については、0 %表示を省略

◎次の金融商品を知っていましたか【⑤iDeCo（イデコ）】（属性別）



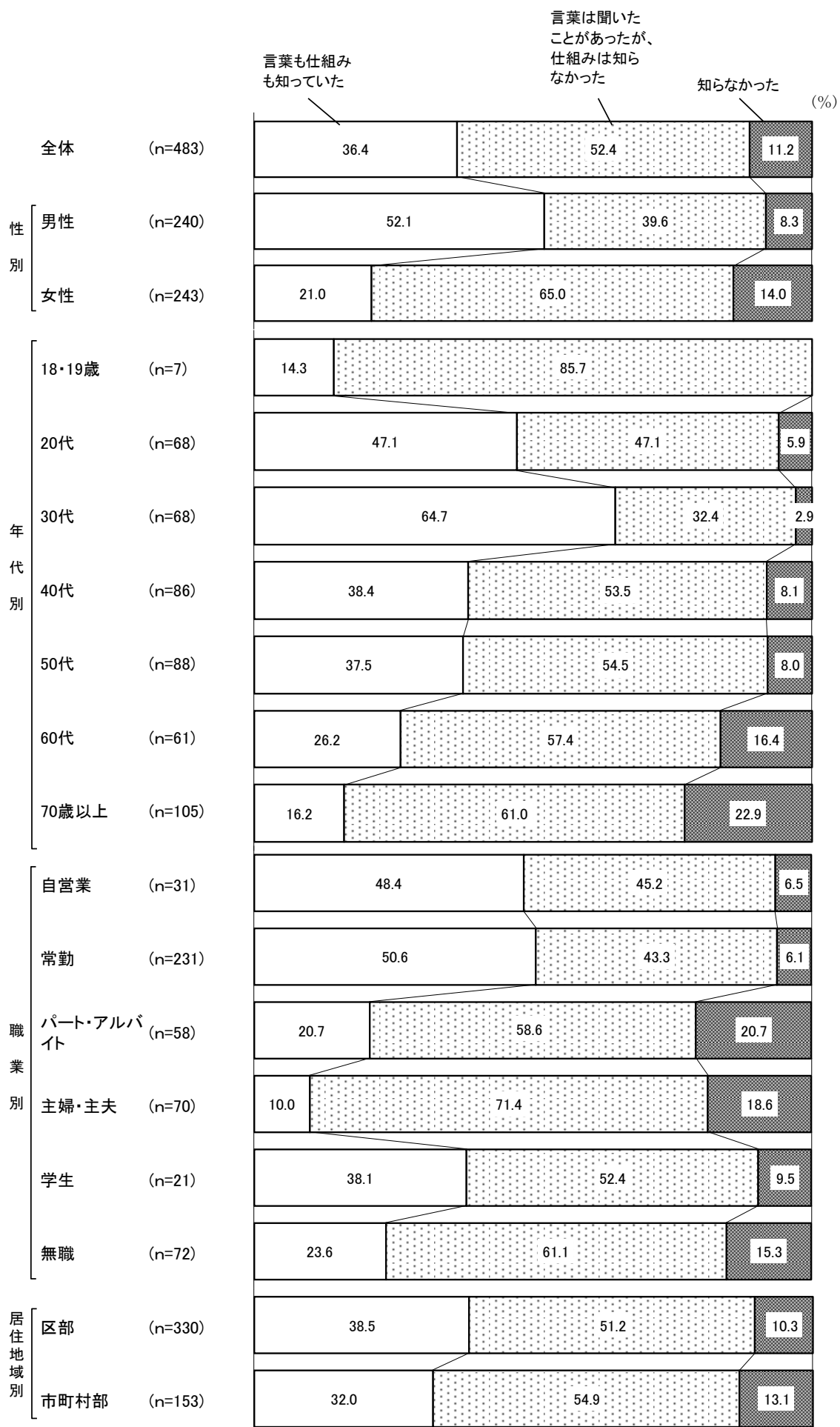
※未回答の選択肢については、0 %表示を省略

◎次の金融商品を知っていましたか【⑥FX（エフエックス）】（属性別）



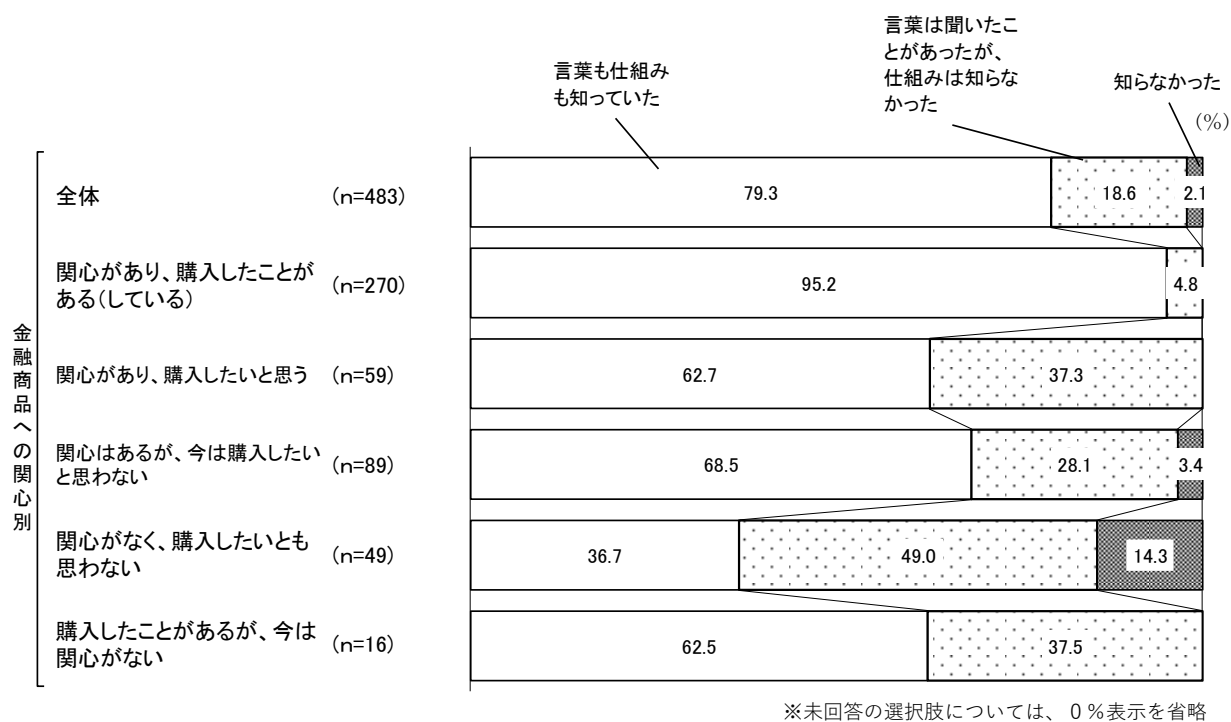
※未回答の選択肢については、0%表示を省略

◎次の金融商品を知っていましたか【⑦暗号資産投資】（属性別）

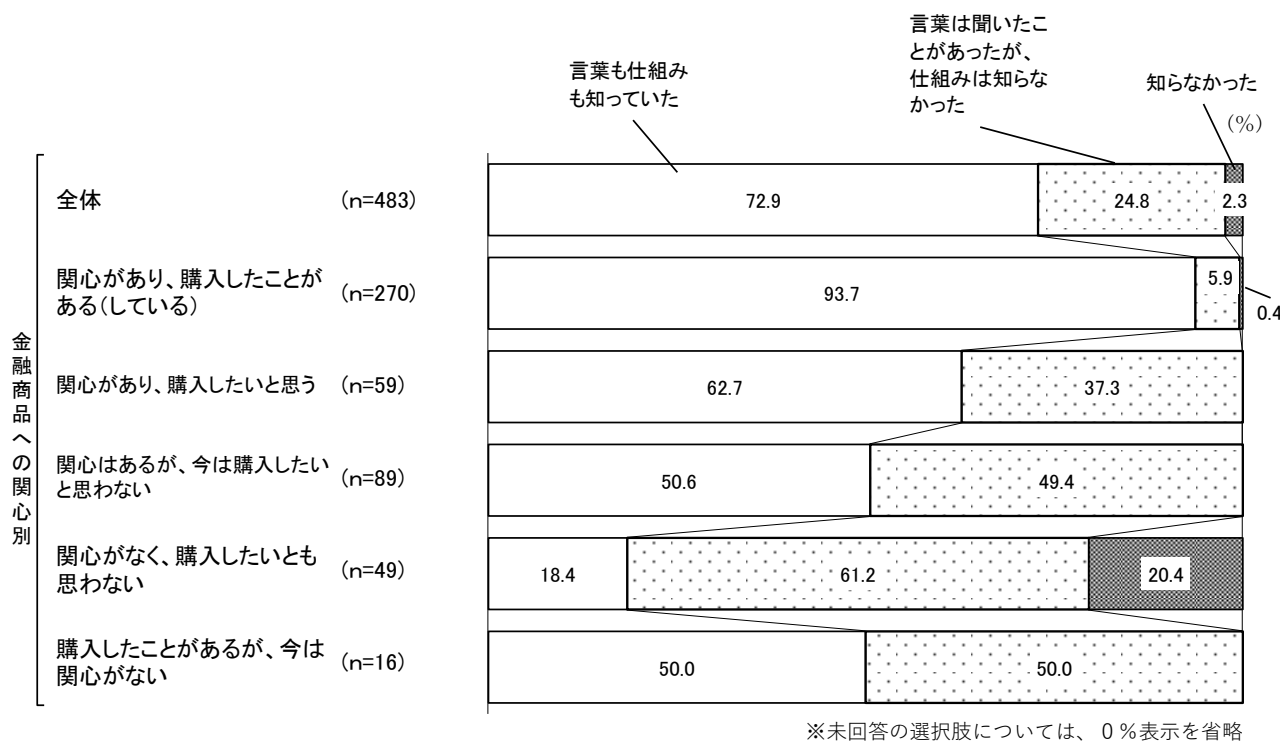


※未回答の選択肢については、0 %表示を省略

◎次の金融商品を知っていましたか【①株式投資】（金融商品への関心別：Q1）



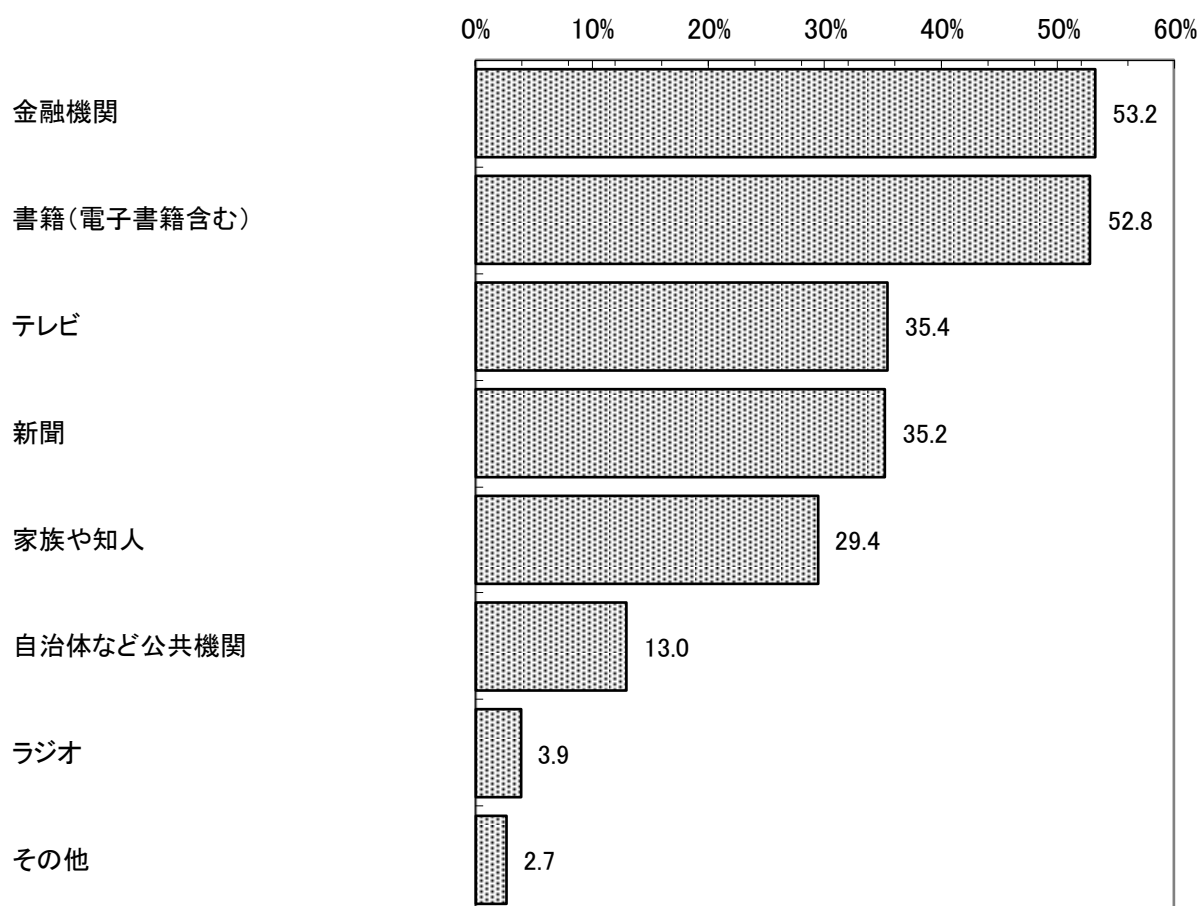
◎次の金融商品を知っていましたか【④NISA（ニーサ）】（金融商品への関心別：Q1）



金融商品の情報入手方法

Q 5 金融商品の情報をインターネット以外で入手するとしたら、何から入手しますか。次の中から3つまで選んでください。

3MA (n=483)

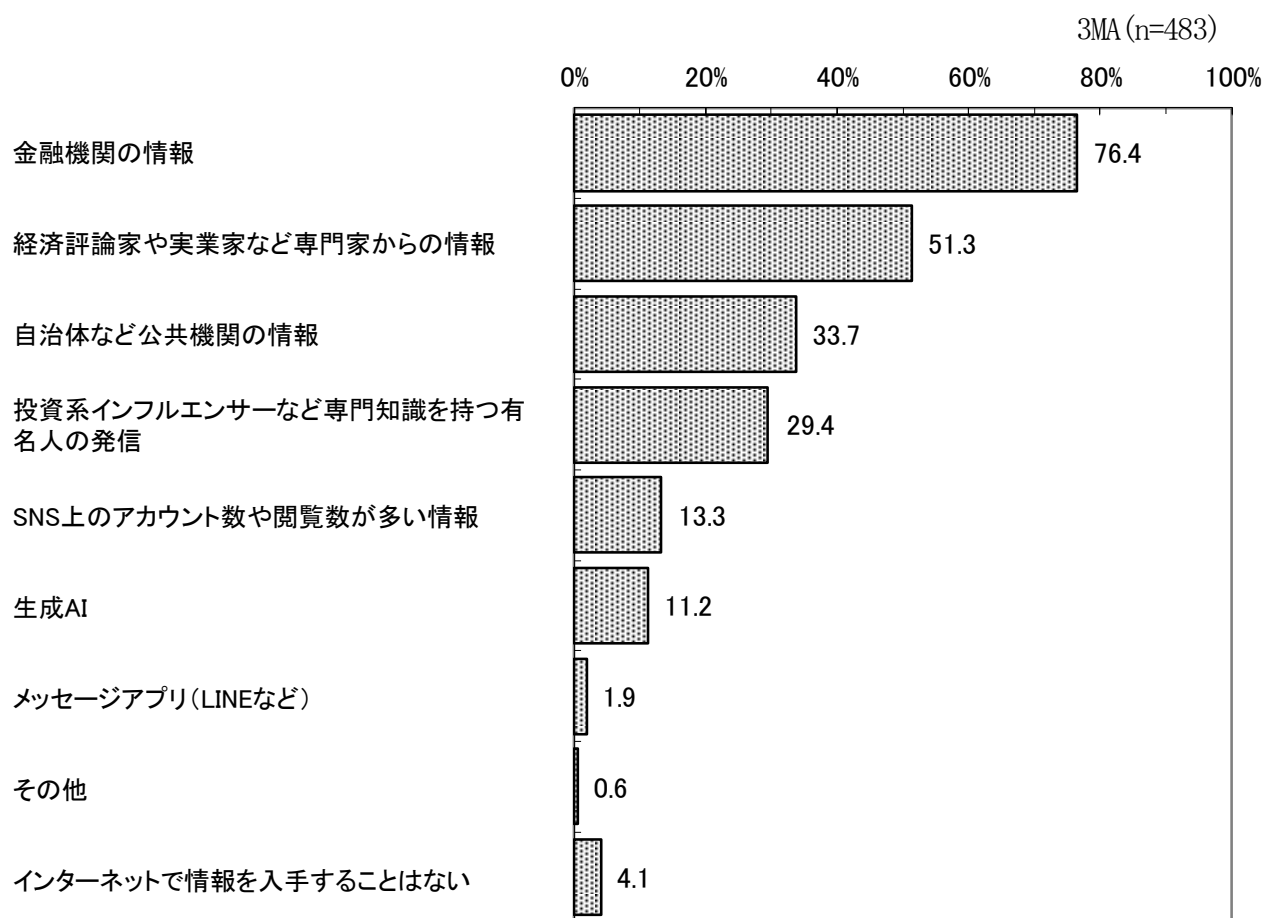


【調査結果の概要】

金融商品の情報をインターネット以外で入手するとしたら、何から入手するか聞いたところ、「金融機関」(53.2%)が5割を超え最も高く、以下、「書籍(電子書籍含む)」(52.8%)、「テレビ」(35.4%)などと続いている。

インターネットによる情報入手方法

Q6 インターネットで金融商品について情報を入手するとしたら、どこから入手しますか。次の中から3つまで選んでください。



【調査結果の概要】

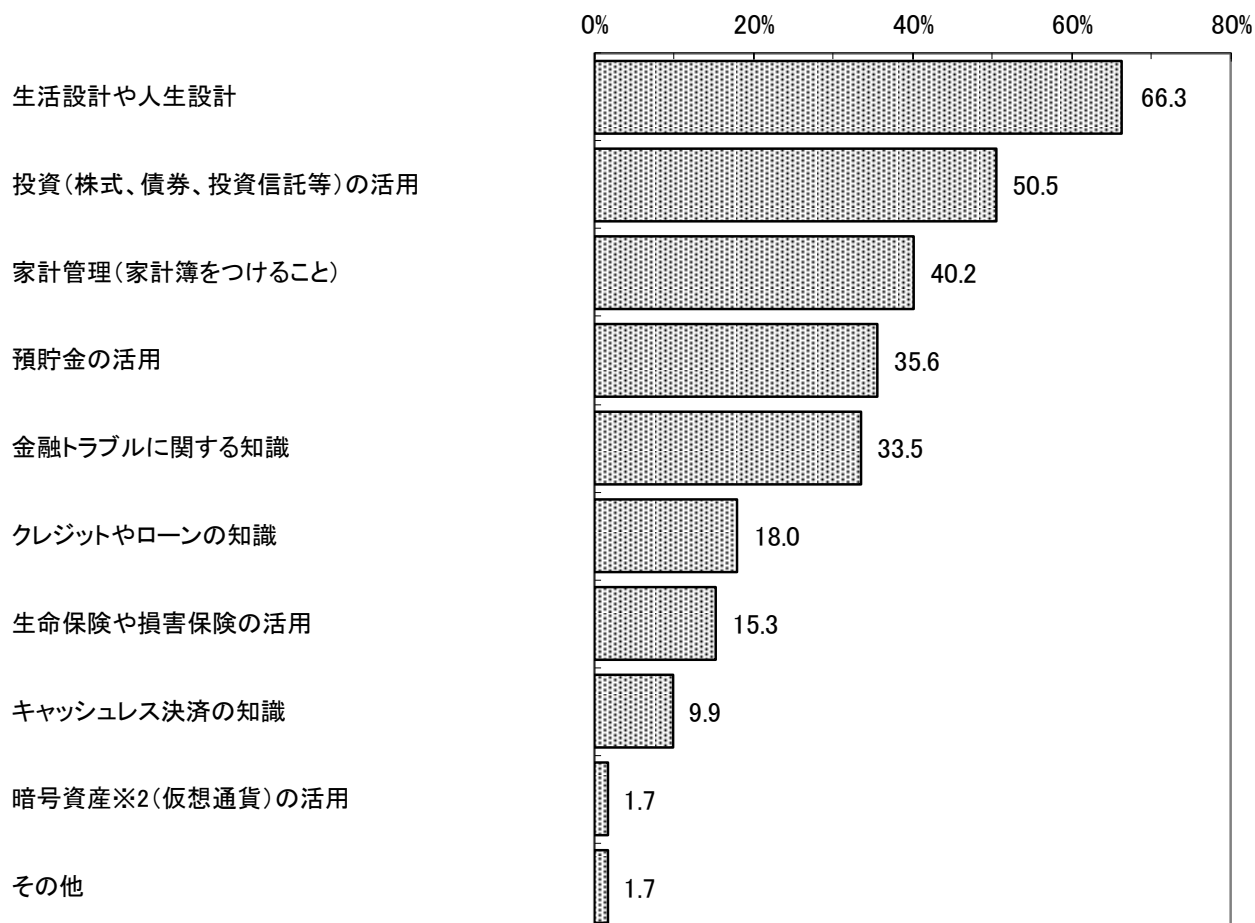
インターネットで金融商品について情報を入手するとしたら、どこから入手するか聞いたところ、「金融機関の情報」(76.4%)が7割半ばと最も高く、以下、「経済評論家や実業家など専門家からの情報」(51.3%)、「自治体など公共機関の情報」(33.7%)などと続いている。

資産管理で重要だと思うこと

Q 7 金融資産※1の管理で重要だと思うことを、次の中から3つまで選んでください。

※1 金融資産：現金をはじめ、預貯金や有価証券（株券、債券など）などを指します。
資産のうち、土地・建物や機械・設備などの実物資産を除いたもの。

3MA (n=483)



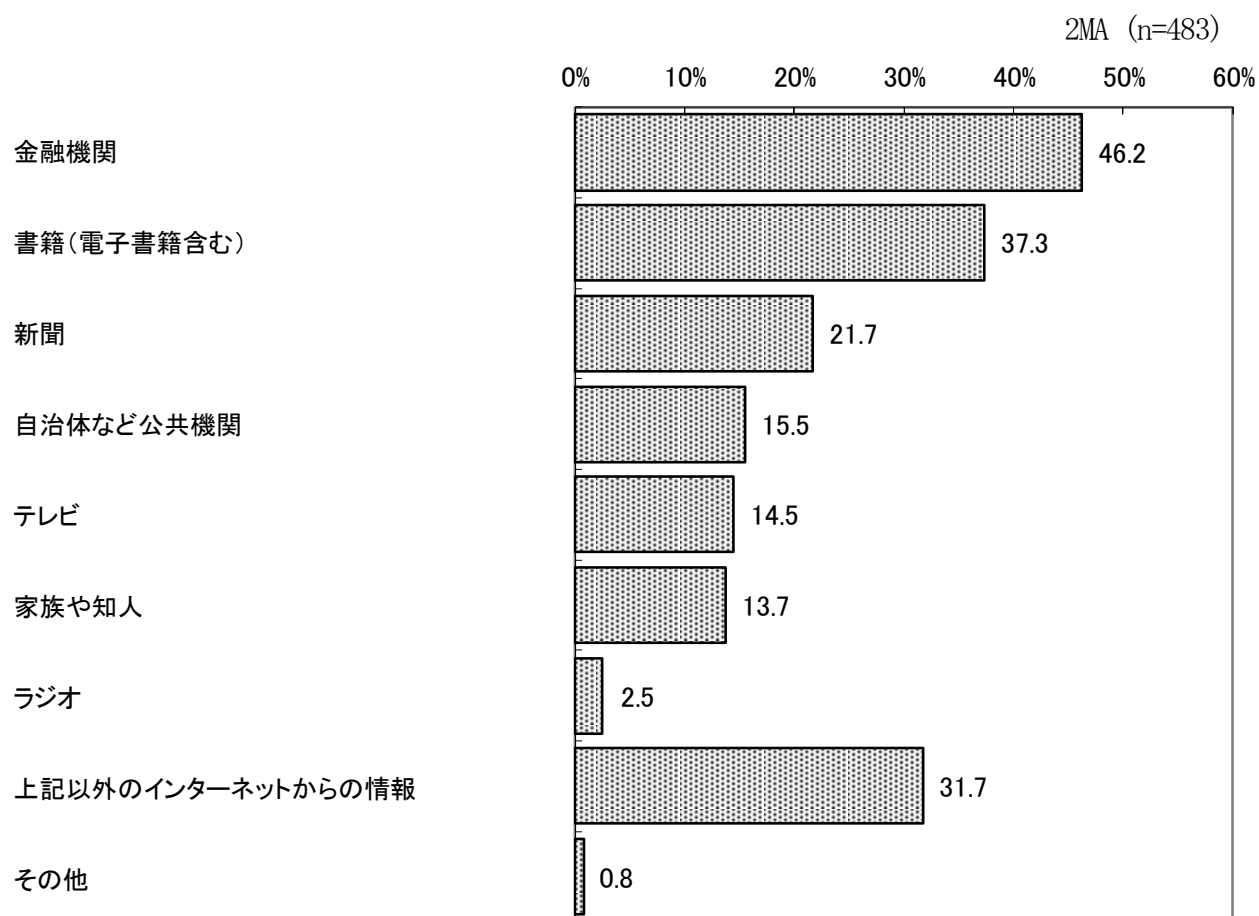
※2 暗号資産：国が発行する法定通貨（円、ドル等）ではなく、インターネット上で取引されるデジタル通貨のこと。代表的なものに、ビットコインやイーサリアムがある。

【調査結果の概要】

金融資産の管理で重要だと思うことを聞いたところ、「生活設計や人生設計」（66.3%）が6割半ばと最も高く、以下、「投資（株式、債券、投資信託等）の活用」（50.5%）、「家計管理（家計簿をつけること）」（40.2%）などと続いている。

資産管理の情報入手方法

Q 8 金融資産の管理について情報を入手するとしたら、どこから入手しますか。次の中から2つまで選んでください。



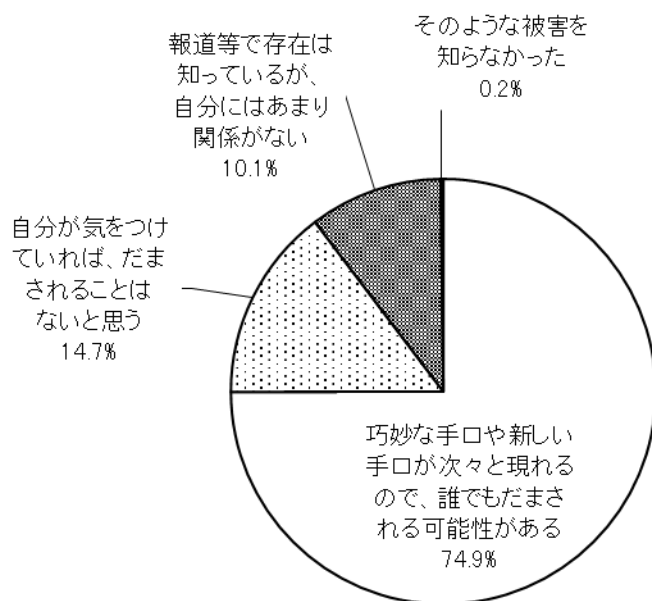
【調査結果の概要】

金融資産の管理について情報を入手するとしたら、どこから入手するか聞いたところ、「金融機関」(46.2%)が4割半ばと最も高く、以下、「書籍(電子書籍含む)」(37.3%)、「新聞」(21.7%)などと続いている。

金融被害に対する意識

金融商品を巡っては、著名人をかたる投資勧誘、高い利回りの配当を約束する投資勧誘、「絶対儲かる」投資勧誘といった、詐欺的な手口による金融被害が問題となっています。

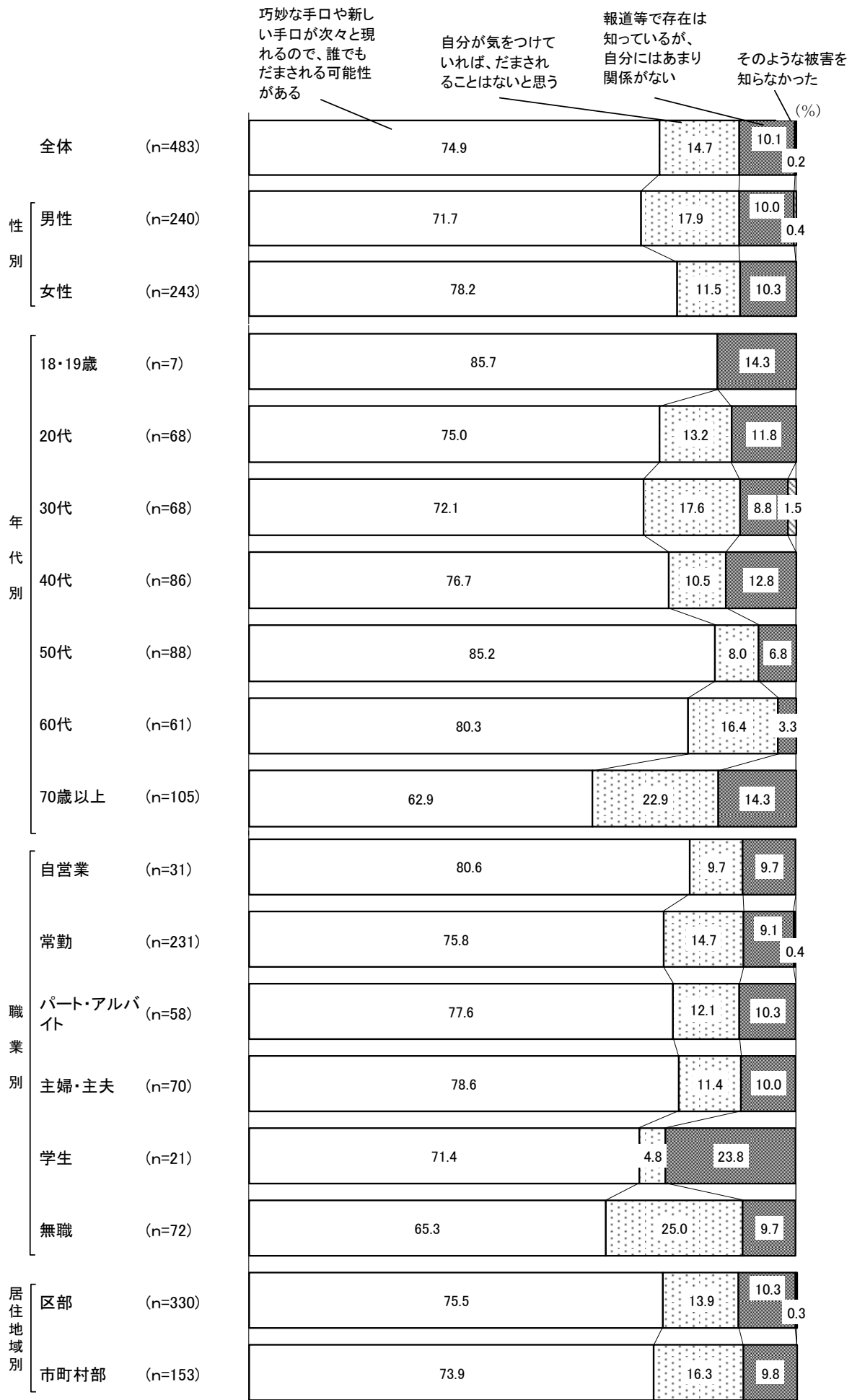
Q 9 詐欺的手口による金融被害について、あなたの考えに近いものを選んでください。
(n=483)



【調査結果の概要】

詐欺的手口による金融被害について、自分の考えに近いものを聞いたところ、「巧妙な手口や新しい手口が次々と現れるので、誰でもだまされる可能性がある」(74.9%)が7割半ばと最も高く、以下、「自分が気をつけていれば、だまされることはないと思う」(14.7%)、「報道等で存在は知っているが、自分にはあまり関係がない」(10.1%)などと続いている。

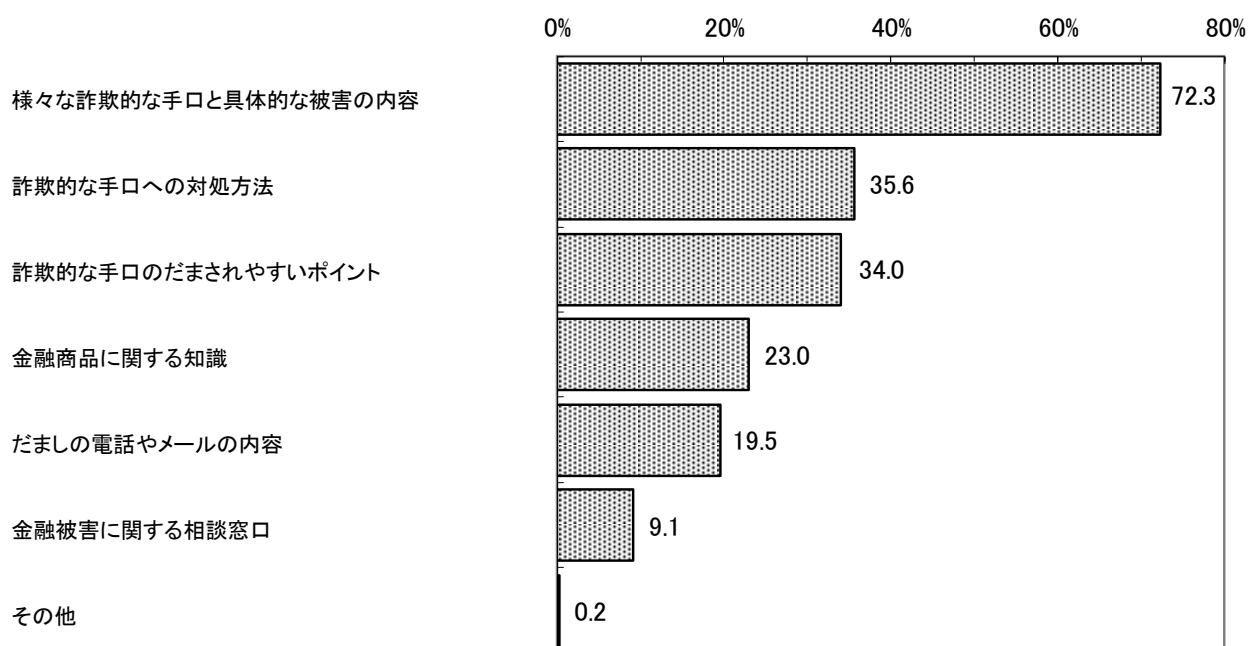
◎金融被害に対する意識（属性別）



※未回答の選択肢については、0 %表示を省略

金融被害の予防策

Q10 金融被害に遭わないために知りたい情報は何ですか。次の中から2つまで選んでください。
2MA (n=483)

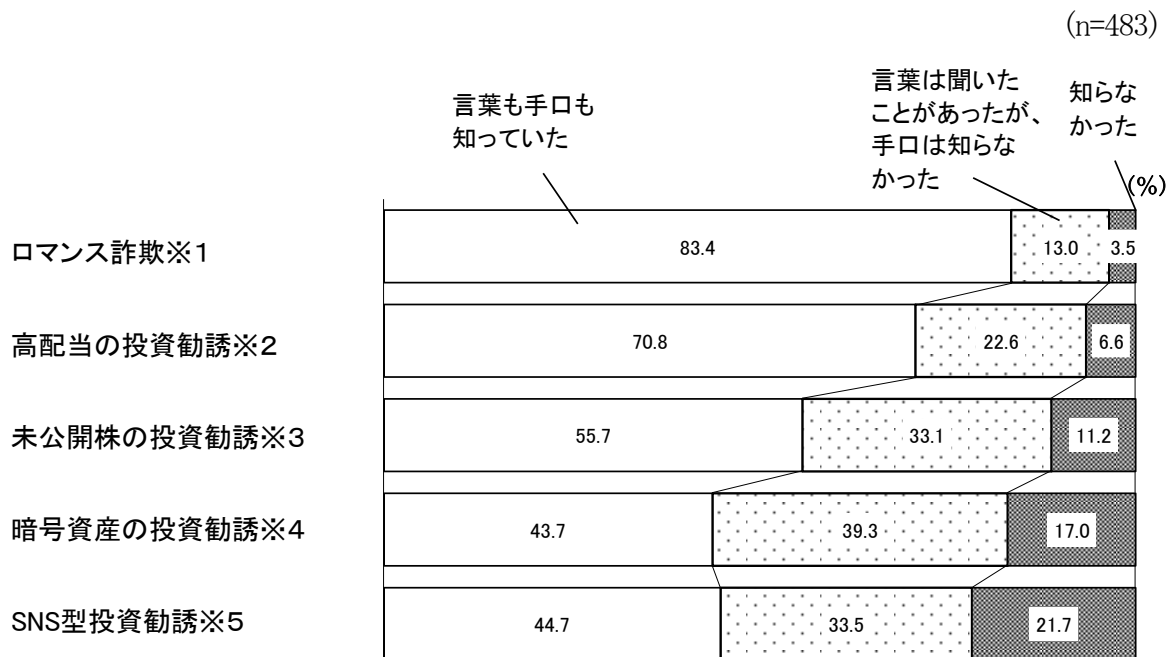


【調査結果の概要】

金融被害に遭わないために知りたい情報を聞いたところ、「様々な詐欺的な手口と具体的な被害の内容」(72.3%)が7割を超えて最も高く、以下、「詐欺的な手口への対処方法」(35.6%)、「詐欺的な手口のだまされやすいポイント」(34.0%)などと続く。

金融被害の手口に関する知識

Q11 次の金融被害の手口を知っていましたか。



※1 ロマンス詐欺：

SNS やマッチングアプリを通じて知り合った相手と直接会うことなくやり取りを続けることで恋愛感情や親近感を抱かせ、結婚に伴う資金調達などを名目とする投資を持ち掛けるなどにより、金銭をだまし取る手口

※2 高配当の投資勧誘：

通常の市場では考えられないような高いリターンを約束する高配当の投資に勧誘し、金銭をだまし取る手口

※3 未公開株の投資勧誘：

上場間近、値上がり確実などと称して未公開株の購入を勧め、購入代金をだまし取る手口

※4 暗号資産の投資勧誘：

儲かるという暗号資産（仮想通貨）の投資を勧め、投資のための暗号資産の購入代金をだまし取る手口

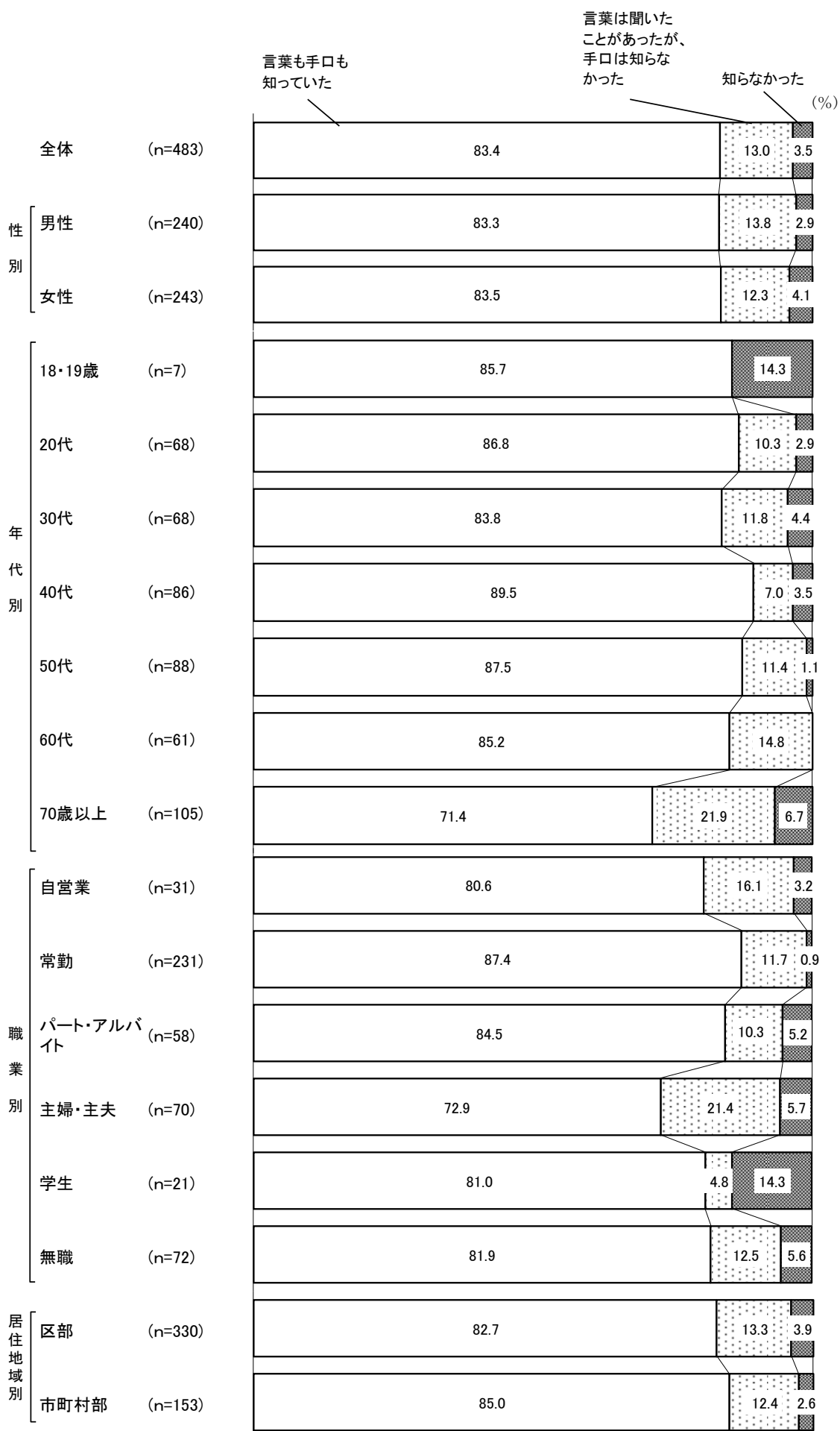
※5 SNS 型投資勧誘：

SNS 上の投資に係る広告から SNS のアカウントやメッセージアプリに誘導するなどして投資を勧め、金銭をだまし取る手口

【調査結果の概要】

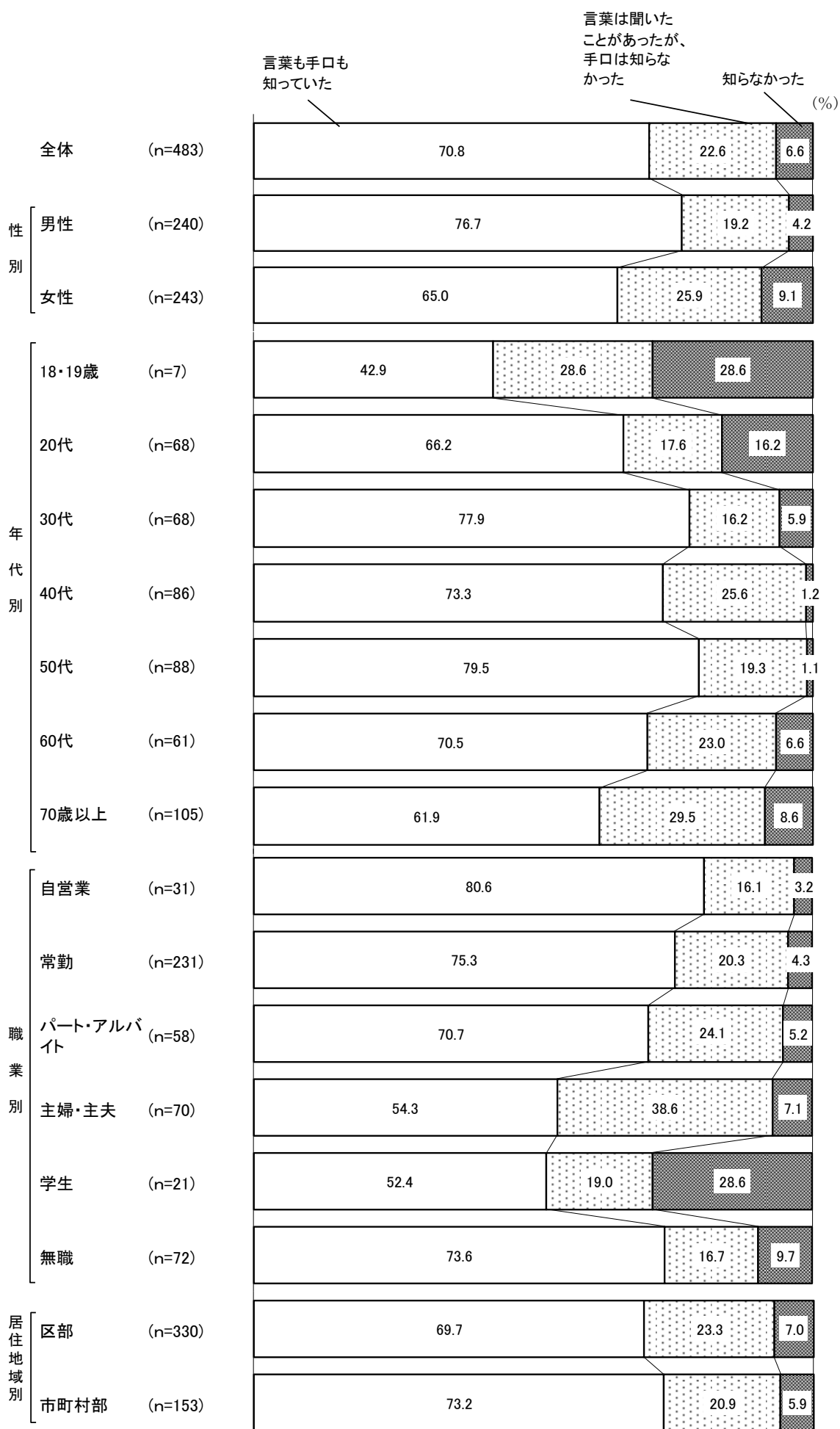
金融被害の手口について知っているか聞いたところ、「言葉も手口も知っていた」のは「ロマンス詐欺」(83.4%) が8割を超え最も高く、「高配当の投資勧誘」(70.8%)、「未公開株の投資勧誘」(55.7%)などと続いている。

◎次の金融被害の手口を知っていましたか【①ロマンス詐欺】(属性別)



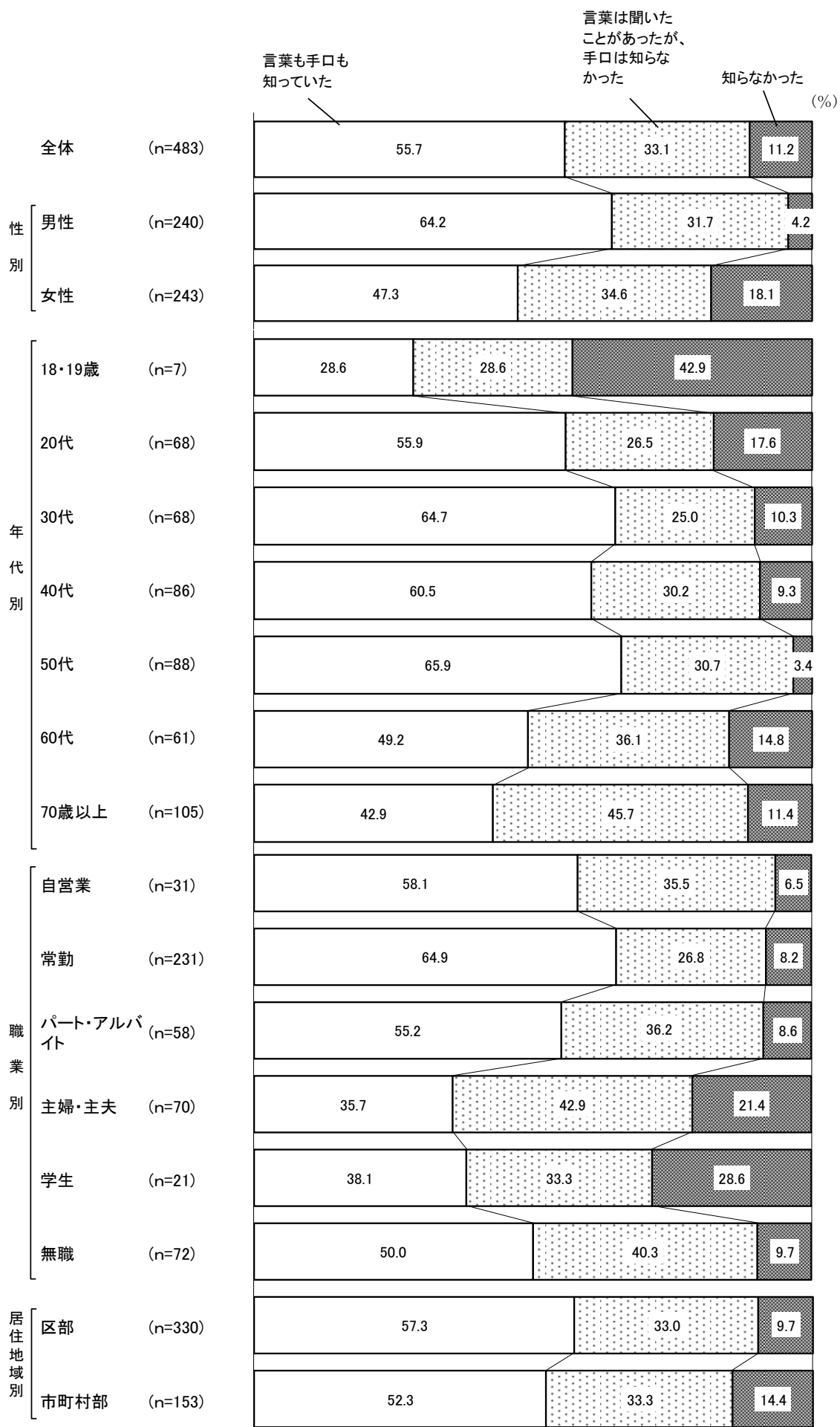
※未回答の選択肢については、0 %表示を省略

◎次の金融被害の手口を知っていましたか【②高配当の投資勧誘】（属性別）



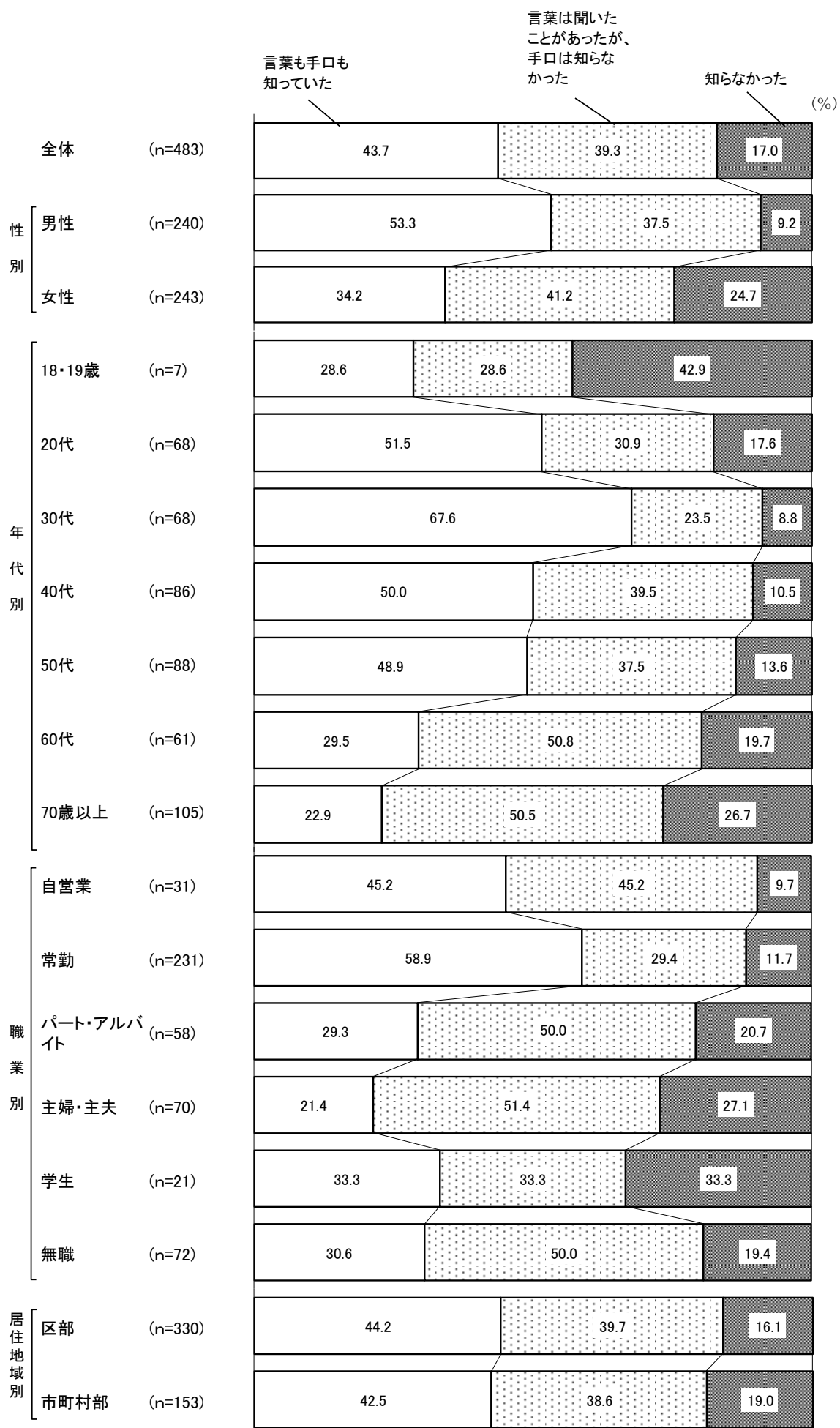
※未回答の選択肢については、0 %表示を省略

◎次の金融被害の手口を知っていましたか【③未公開株の投資勧誘】（属性別）

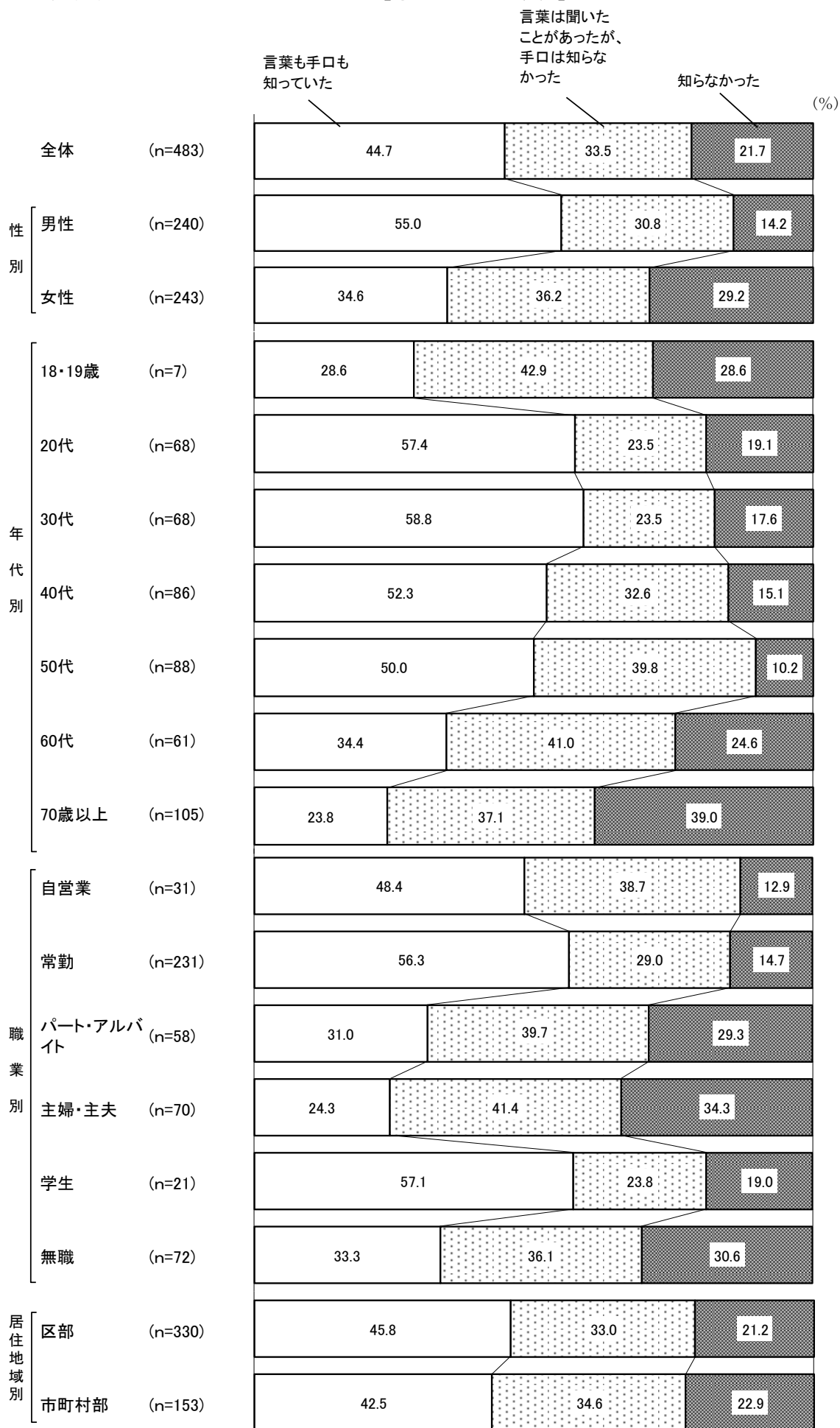


※未回答の選択肢については、0%表示を省略

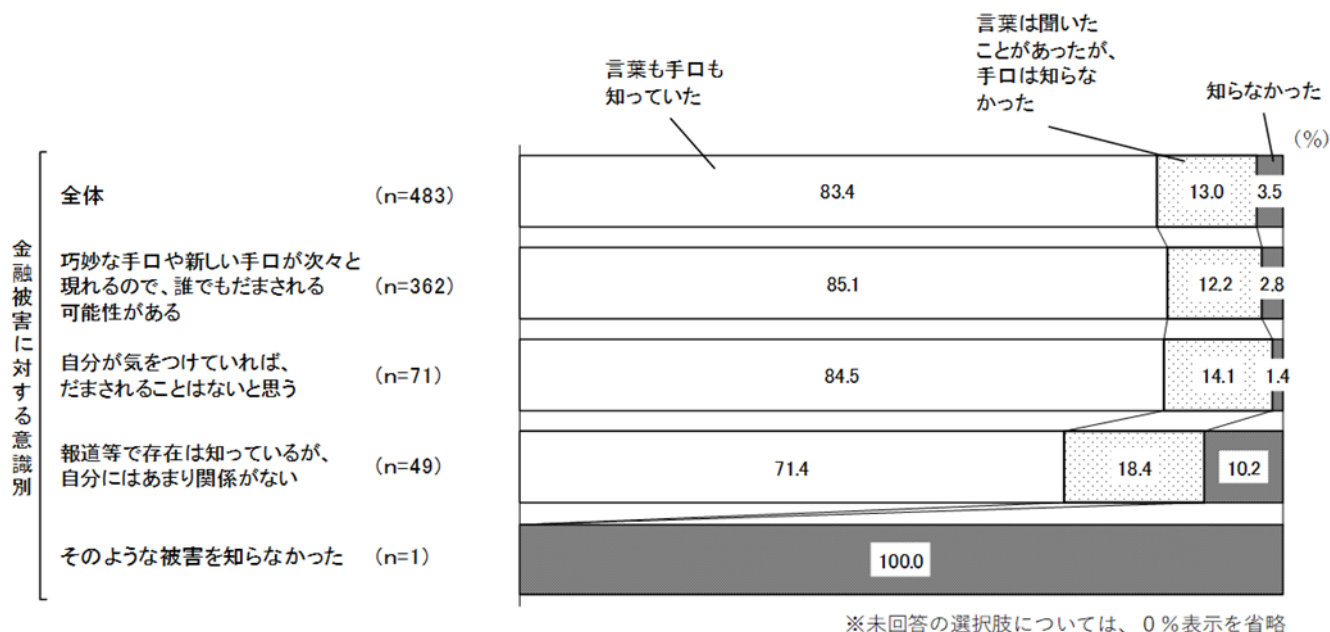
◎次の金融被害の手口を知っていましたか【④暗号資産の投資勧誘】（属性別）



◎次の金融被害の手口を知っていましたか【⑤SNS 型投資勧誘】（属性別）

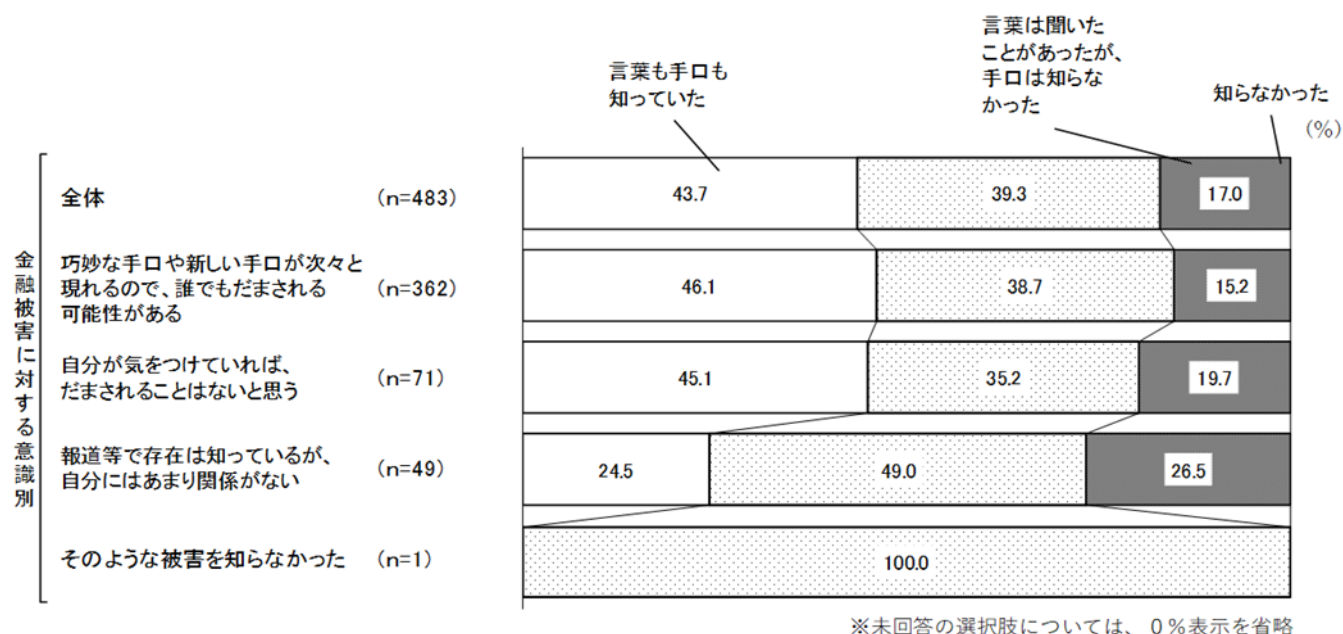


◎次の金融被害の手口を知っていましたか【①ロマンス詐欺】（金融被害に対する意識別：Q 9）



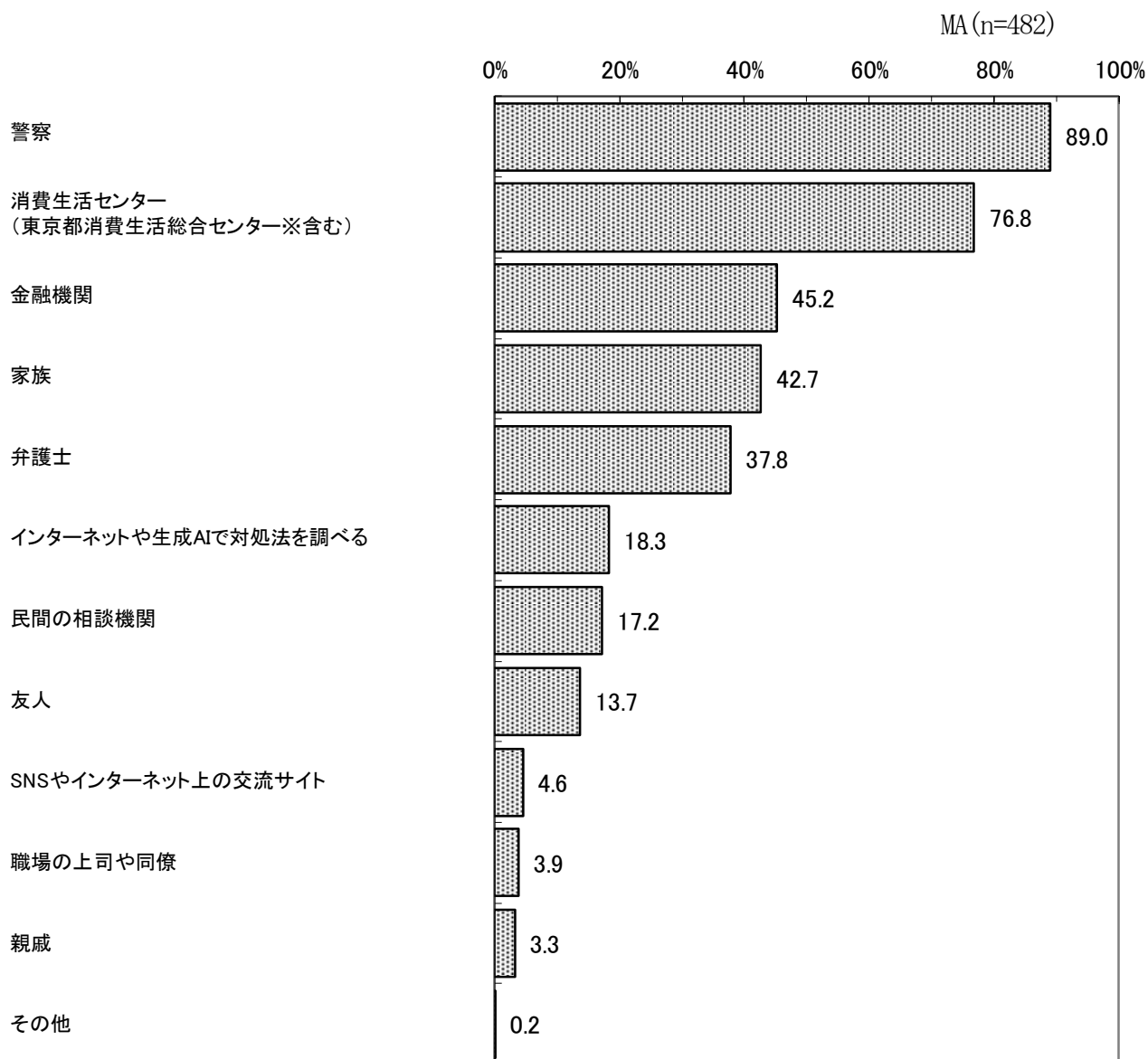
◎次の金融被害の手口を知っていましたか【④暗号資産の投資勧誘】

（金融被害に対する意識別：Q 9）



金融被害に遭った際の相談先

Q12 金融商品に関する被害・トラブルに遭った場合、どこに相談しますか。次の中からいくつでも選んでください。



※東京都消費生活総合センター：

消費生活相談、消費生活情報の提供、消費者学習の推進、消費者活動の支援・協働、相談に伴う商品テストなどの事業を実施する機関で、都民の主体的かつ合理的な消費生活を支援する。

【参考ホームページ】：消費生活相談窓口のご案内（東京くらしWEB）

<https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.lg.jp/sodan/sodan.html>

【調査結果の概要】

金融商品に関する被害・トラブルに遭った場合、どこに相談するか聞いたところ、「警察」(89.0%)が9割近くと最も高く、以下、「消費生活センター（東京都消費生活総合センター含む）」(76.8%)、「金融機関」(45.2%)などと続いている。

金融リテラシーや金融被害について（自由意見）

Q13 金融リテラシーや金融被害について、意見をご自由にお書きください。

（自由意見）

（n=450）

- | | | |
|-----------------------------|-------|------|
| (1) 金融被害と取組に関すること | | 157件 |
| (2) 金融リテラシーに関する啓発、金融教育、情報発信 | | 148件 |
| (3) 自分自身の防止策 | | 100件 |
| (4) 昨今の金融の状況と相談先に関すること | | 45件 |

（主なご意見）

（1） 金融被害と取組に関すること 157件

- 自分は大丈夫だと思っていでも、様々な手口や方法を見聞きすると、騙される可能性はあるのだと考えさせられる。昨今は高齢者だけが狙われているわけでないで、全世代に正しい知識と冷静な判断が求められていることを改めて認識してもらう必要があると思う。

（女性 10代 杉並区）

- 両親や祖父母が被害に遭わないかが心配です。歳を重ねると思考力や判断力が鈍るので、周りのサポートが大事だと思っています。

（女性 20代 墨田区）

- これまで金融被害に遭うことがなかったので、今回のアンケートで色々と手法を知り、これから被害に遭わないように気をつけたいと思いました。

（男性 20代 江東区）

- 将来のための貯蓄の手段として最近話題になっているが、詐欺には気をつけなければならぬとあらためて考えさせられました。

（女性 20代 北区）

- 詐欺広告規制をしっかりしてほしい。

（男性 30代 江東区）

- SNSで詐欺被害の注意喚起を見ていると、絶対騙されないと思っていた人も被害に遭っており、とても怖いです。自分だけでなく、ネットが苦手な親が被害に遭わないよう、引き続き対策していきたいです。

（女性 30代 青梅市）

- 実際に手口が多様化しており、高配当や必ずもうかるという内容は、特に疑ってかかる必要があるため、常に注意喚起や啓発が必要だと思います。

（男性 50代 杉並区）

- 残念ながら様々な詐欺があると聞きます。自分には関係のないこととは思わず、いつ誰にでも起こり得ることという認識を持ち続けたいです。

(女性 50代 立川市)

- 自分には関係ない、騙されないと思っていても、色々な手口が次々に生まれているので、気をつけていきたいと思います。

(女性 60代 葛飾区)

- 手口が巧妙になっているので、誰でも引かかる可能性があると思う。最近は何でもデジタル化して、老人はどうして良いのかわからない。

(女性 60代 町田市)

- ネット上の詐欺を見つけ出す機関、ホワイトハッカーの起用、ネット内のパトロールが必要。金融に関しての小学生から学習（税金と年金等）、付随して騙さない、騙されない教育が必要である。

(女性 70歳以上 武蔵村山市)

- 自分には無関係と思っていたが、もう少し対策を考え、知識を得たいと思いました。

(男性 70歳以上 多摩市)

(2) 金融リテラシーに関する啓発、金融教育、情報発信 148件

- ニュースをみていると、お年寄り以外にもまだ若い人や親世代の人も騙されてしまっていることが多いと感じるため、様々な対策が必要であると思います。特定の年齢層に被害が多いというよりも、皆に被害の危険性があるということなので、テレビの報道など、多くの人が目にするものでの情報発信が効果的であると考えます。

(女性 10代 日野市)

- 最近は学校で金融リテラシーの授業をするようになったと聞かすが、現役世代の我々はそうした教育を受けてこなかった。詳しくなるには自分で調べたり人に聞いたりするほかなく、ある意味、子供たちよりもリテラシーが低い可能性もある。また、大人ゆえに人に聞くのが恥ずかしいと思う人もいるかもしれない。(既にあるかもしれないが) 東京都のホームページなどで大人向けの金融リテラシー教育ページなどを作っただけだと都民、ひいては国民全体の金融リテラシーが高まる気がした。

(男性 20代 港区)

- インターネットネイティブ世代としては、上手い話などあるわけがないと常に懐疑的に物事を見るようにしているが、ネイティブなはずなのに騙されている若者が多いように感じる。若者向けに学校やSNS等、広く目につくところで注意喚起を促してほしい。SNSで行う場合、行政側からの発信だけではなく、有名人やインフルエンサー等広報力の高い人をぜひ起用してほしい。

(女性 20代 品川区)

- 投資をする人が増えているが、知識がないまま始めることで詐欺等の被害にあってしまう人が多発している。金融知識や金融リテラシーを学んだ上で投資を始められるよう、身近に様々な媒体で、学ぶことができるような環境があれば良いと思う。

(男性 20代 杉並区)

- 金融リテラシーの必要性が高まっている認識はあるものの、では具体的に何をすべきかということがわかりづらく、必要な情報・考え方をできる限り広く簡易に浸透させることが重要と思われる。

(男性 30代 板橋区)

- ちょうど年齢的に今後の資産形成について考えていたところだったので、いい機会になりました。説明もわかりやすかったです。また、今は大丈夫でもこれから歳をとるとコロッと騙されて金融被害に遭うことがあるかもしれないとも思っているので、具体的な手口などの情報を含めた注意喚起をたくさんしていただけるとありがたいです。

(女性 40代 台東区)

- 興味や実際に投資を行う際に勉強を行うが何を学ばよいかわからないまま投資等を行ってしまうことがある。子供など早い段階から学ぶ機会をより増やした方が良い。金融被害は、その本人が正しい知識を有していれば避けることはある程度できるので、正しい知識のつけ方を学ぶ場があると良いと思います。

(男性 40代 小金井市)

- 小さい頃にお金について学ぶ場がなかったので金融商品など未だによく分からないことが多い。もっと身近に小さな頃から学ぶ場が欲しかった。金融被害はニュースなどを見て自分は大丈夫と思っているが、これだけ被害に遭う人が多いということは、やはり簡単に騙されてしまうのかもしれない。こういったことも周知の場が広がって被害者が減るといいと思う。

(女性 40代 国分寺市)

- 複雑化、巧妙になっている印象。年配者だけでなく、子供の頃から金融知識を教える場を常時設けることが予防になると思います。セミナー開催は、地方自治体や、国、都道府県で開催されると安心。

(女性 50代 北区)

- 金融被害に遭わないための基礎的な知識や実際にあった手口等に関して、いろいろな知る機会が欲しい。それにより実際にそのようなことに直面した際、落ち着いて判断ができそうだと思う。

(男性 60代 江東区)

- 家計簿をつけているので、将来必要な資金については、意識していました。お金の大事さは小さい頃から教わってきましたが、しっかりとした学びの場が若い頃からあったら良かったと思います。

(女性 70歳以上 大田区)

- 自分は金融被害に遭わないと思っていても、油断したつもりはなくても詐欺や金融被害に遭う可能性があると思う。それを防ぐために、警察や公共機関からの詐欺や金融被害の実態や被害に遭わないようにするための対策に関する情報の発信が大切だと思う。

また、インターネットを使った事件も増加しているので、消費者が騙されないように、偽の情報を取り締まる対策、金融機関の口座を乗っ取られないよう対策を講じることも必要だと思う。
(男性 70歳以上 荒川区)

(3) 自分自身の防止策 100件

- 自分ごとのみならず家族と金融についての会話をオープンにすることが大事だと思います。
(男性 20代 大田区)
- 金融商品の取り扱いは、個人の判断力に委ねられている側面が大きいように思います。金融被害の実例を見聞きする機会を増やして、判断力を上げていきたいです。
(女性 20代 北区)
- 自分は大丈夫という気持ちが危ないので、冷静に考えることが必要だと思う。
(女性 30代 江戸川区)
- 特に学習する機会がなく、専門的な知識という先入観があるが、近年多彩な手口で老若男女問わず詐欺の被害が報告されており、自分から進んでリテラシーを得たり、ニュースから学んだりという前向きな姿勢で自衛することが必要なのだろうと感じている。
(女性 40代 中央区)
- 騙される人がいるから詐欺がなくなる。自分を含めてリテラシーの向上を目指したい。
(男性 50代 八王子市)
- 国がNISAの活用を推奨していることから、長生きの現代においては、老後資金の補填のために何らかの形で資産運用が必要と考えています。金融被害に遭わないように情報収集をしながら、「長期・積立・分散」でリスクを抑えながら着実な資産運用を実行したいと考えています。
(女性 60代 新宿区)
- 金融被害に遭わないために日頃から各種情報(新聞、行政の広報紙、TV、インターネット等)を収集し、金融リテラシーの向上に努めています。常識外れの有利な取引などを徹底して信じないように気を付けるとともに、不知の電話番号から掛かる電話やメールは無視しています。新たな詐欺の手口が現出しているので、今後も細心の注意をもって生活していきます。
(男性 70歳以上 江戸川区)

(4) 昨今の金融の状況と相談先に関すること

45件

- これからの時代、特に投資などの現金保有以外の資産の持ち方を知らない、物価高に対して収入が比例して上がることは、まず考えられないとした場合、資産が目減りしていくだけになると思っている。

(女性 10代 大田区)

- 働き盛りの年代の人は自発的に調べる体力も、情報の取捨選択をする判断力や社会へのアンテナがあるので大丈夫だと思いますが、お年寄りが被害に遭わないための対策や、もし遭ったとしてもすぐに相談できる環境（どこに相談したら良いのかの情報提供に至るまで）が必要だと思います。

(女性 30代 八王子市)

- 従来からの、資産に関することは自己責任という固定観念には変化が求められていると感じます。

(男性 40代 新宿区)

- 現時点では積極的に投資などをやっていないため、騙されることはないかと思うが、今後やってみたいと思っており、でも怖くて手が出せない。安心して投資などをできる環境になればいいと願っている。

(女性 50代 品川区)

- そもそも世の中にべらぼうに儲かるようなことは存在しない。更に、もし投資等で小銭を得たいならば、大手の金融機関に関わって情報等を得て納得したならば、無理せずに、余剰の資産を運用するまでに留めるべきと思う。また、無理して金融資産を増やすために高利な話には乗らないで、元本保証の定期預金程度での運用で良いのでは。

(男性 70歳以上 品川区)

- 様々な新しい手口で、攻撃してくるので、気が抜けないと思います。正しい知識を知らせるのは、大切なことと思います。また、被害に遭った時の相談窓口なども沢山開設してください。

(女性 70歳以上 世田谷区)